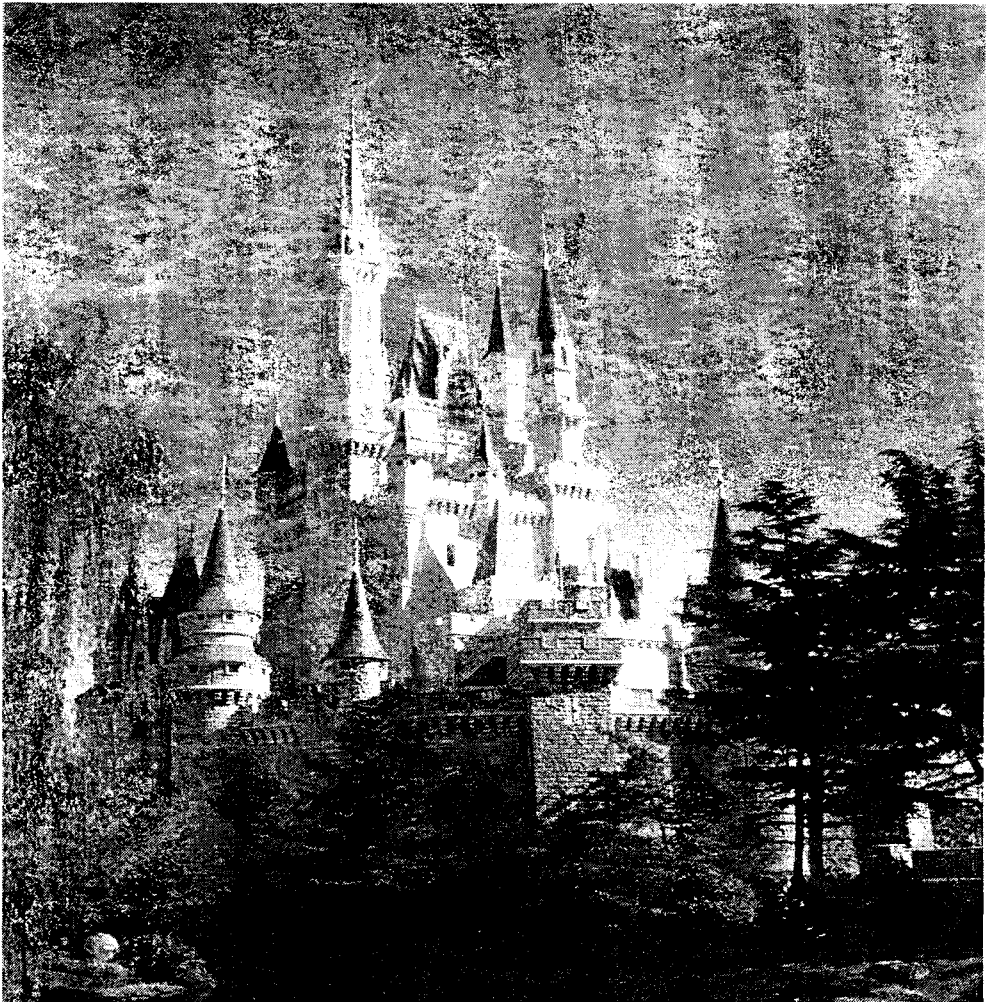


多賀工業会千葉県支部会報

茨城大学工学部 36 号

支部創立 50 周年記念号



多賀工業会千葉県支部

平成 18 年 11 月 12 日発行

平成 18 年度後期 [9 月よりの行事一覧表]

俳 句	平成 18 年度後期俳句コンクール作品募集・・・65 頁 兼 題：年の市・雪吊・山茶花（さざんか） 締切日：12 月 25 日	俳句会長 塚越要夫 副会長 小室哲夫
	支部 50 周年記念俳句大会の報告・・・・・・66 頁	

囲 碁	第 33 回(千葉支部 50 周年記念大会) 18 年 10 月 26 日～27 日（木・金） 会場：千葉県長生郡一宮町（上総一ノ宮）一宮荘	囲碁会長 高橋孝雄 副会長 穂坂邦光
	第 34 回 18 年 12 月 24 日（土）予定 会場：船橋中央公民館 9:30～16:30	

史跡・万歩会	史跡・万歩会長 高橋 清 副会長 佐藤栄一	
第 54 回 行程約 7Km	平成 18 年 11 月 25 日(土) JR 内房線 五井駅 10:40 集合 五井駅(11:00)→養老溪谷駅(12:00)→梅ヶ瀬溪谷(シャトルバス)→大福山(紅葉見物)→養老溪谷駅(15:53)→五井駅	
第 55 回 行程約 5 Km	平成 19 年 1 月 8 日(月) JR 千葉駅 10:00 集合 千葉駅→千葉神社→亥鼻公園(郷土博物館)→千葉駅→東天紅(新年会)	
第 56 回 行程約 6 Km	平成 19 年 3 月 31 日(土) 京成佐倉駅 10:00 集合 京成佐倉駅→甚大寺→佐倉歴史生活資料館→おはやし館→市立美術館→(漆坂)→麻賀多神社→三逕亭/本丸址→城南堤→高崎川→JR 佐倉駅	
第 57 回 行程約 7 Km	平成 19 年 5 月 26 日(土) JR 内房線 袖ヶ浦駅 10:30 集合 袖ヶ浦駅→袖ヶ浦公園→万葉の植物→郷土資料館→上池散策→袖ヶ浦駅	

ゴルフ会	10 月 20 日（金） あやめ会との合同ゴルフコンペ ＜コース＞成田東カントリークラブ	ゴルフ会長 高萩隆司 副会長 綿引貞男
	会友（あやめ会）との合同コンペで個人戦と団体戦が行われます。多数の参加をお待ちしています。	

表紙写真の説明 撮影：檜山 邦良

東京ディズニーランドのシンボル「シンデレラ城」
(千葉県浦安市にあります。東京都にあると思っ
ている人が多いようです。)

目次

特集

- ◆挨拶
 - 檜山支部長（昭 30 学機）創立 50 周年にあたり 4
- ◆ 50 年を顧みて
 - 原田 正夫（昭 16 専精）学校創立時の思い出 5
 - 山田 泰雄（昭 19 専機）回想 9
 - 中村善一郎（昭 22 専電）遙かな多賀工専 10
 - 関 誠治（昭 22 専機）多賀工専在学当時の思い出 12
 - 明石 和夫（昭 22 専金）クラス会にまつわる級友たちの思い出 16
- ◆寄稿
 - 塚越 要夫（昭 25 専電）スペイン幻想紀行 18
 - 小白井和典（昭 28 学機）メールで五七 GO 24
 - 税所 裕（昭 28 学金）明治維新・祖父の生涯 26
 - 山形俊一郎（昭 33 短電）短大回想 28
 - 芝山 佑芳（昭 34 学原）植田先生を偲んで 29
 - 佐藤 栄一（昭 37 学電）パソコン・酒・料理 31
 - 望月 晴雄（昭 40 学金）紺碧の空に門を 35
 - 高橋 利男（昭 46 学化）アウトドアな趣味 38
 - 金坂 潤（昭 47 学電）ミカン星人的趣味 39
 - 沼倉 研史（昭 48 院化）米国ニューイングランドから 40
- ◆文芸
 - 平戸 三郎（昭 31 学機）平戸三郎の世界 44
 - 山形俊一郎（昭 33 短電）炎天 46
- ◆論文
 - 穂坂 邦光（昭 32 学金）電気炉製鋼の今昔閑話 47
- ◆母校の現状（黒木剛司郎先生の講演資料の一部を転載） 52
- ◆千葉県支部年表 55

支部活動

- ◆後期行事予定 2
- ◆報告
 - 第 33 回総会報告 59
 - 本部理事会報告 60
 - 会員たより 61
 - ゴルフ会 63
 - 囲碁会 66
 - 俳句会 67
 - 史跡万歩会 69
- ◆新年会の案内 69
- ◆支部役員・役割・連絡一覧表 70

創立 50 周年号の刊行にあたり

支部長 檜山 邦良 (昭 30 学機)



千葉県支部会報は、第 33 回総会（平成 18 年 5 月 27 日）において、50 周年記念号として刊行することが決まり、この第 36 号で特集されました。

従来、会報は会の活動報告、会員の動向および同好会の連絡を第一として編集され、会報としての重要な役割を果たしてまいりました。しかし、内容において、エッセイ、小論文等をもっと盛り込むなどして、より充実したい願望もありましたが、諸事情からかなえられませんでした。そ

こで今回は望みに叶うナンバーワン会報の作成をめざす意気込みで多くの寄稿を会員から募り、準備・編集・装丁はすべて素人の手作りで刊行するまでに至りました。ここに執筆者ならびに編集に携わった各位に対し敬意を表すとともに深く感謝申し上げます。

現在はパソコンの普及で、文字・写真情報のみならず、音やムービーまで容易に入手できる時代ですが、これらの情報は自発的に働かないと入手できません。会報の場合は送達するまで、幹事諸氏に大変な作業を強いなければなりません。全ての会員に確実に届けられる点で有用であり、将来も続けなければならないものと思います。

旧い会報の中にはエッセイ、追想、紀行、報告、解説、俳句、短歌等のすぐれた文章が残されております。これらの労作を消失するのは、極めてもったいないことです。そこで 50 周年を機に、千葉県支部会報のバックナンバーを揃えて、残すことにしました。旧会報の収集では第 3 代支部長の山田泰雄氏所蔵を大分割譲していただき、全号を揃えることができました。創刊号から前号までの累積は B5 版 550 ページになります。思索して作られた文章は貴重であり大切に保存することは千葉県支部の歴史と伝統を後世に残すことになります。現在はデジタル化していませんが、将来は自由にアクセスできるアーカイブに収納することも夢ではありません。

三幣正人氏（第 4 代支部長）からは、多額の寄付金を頂き、この記念号の実現への契機となりました。氏は本会報の創刊から 30 号までの長い間、一貫して編集に尽くされ、現在も助言を賜っております。末尾になって恐縮ですが、ここに厚くお礼申し上げます。

50年を顧みて

学校創立時の思い出

原田 正夫（昭16 専精）



多賀工業会千葉県支部創立50周年記念お目出度うござ居ます。多賀工業会千葉県支部総会、何とすばらしい会合でしょうか？「歴代支部長を中心として熱心な会員と素晴らしい幹事諸君がおるからです。」

思い出せば新寮成った娯楽室に集った千葉県学友20数名、一杯のお茶、一枚一銭のセンベイ、一個二銭の饅頭を食べながら瑞穂踊りを踊り狂ったことが思い出される。

卒業後もこの会合を持とうと約束し、何時の間にか早65年が過ぎ去ったことになる。感無量です。総会の状況は歴代支部長の会報にてご承知の事と思いますので今回は思い出の学校創立の状況及び学生生活の状況を紹介することにする。

多賀高等工業学校関係事項

昭和14年5月22日 勅令第336号をもって多賀高等工業学校、他6校、（室蘭、盛岡、大阪、宇部、新居浜、久留米）計7校の高等工業学校の設置が交付された。

5月23日 東京帝国大学教授従三位勲二等山内不二雄が校長に任ぜられた。

学科：機械科、原動機械科、精密機械科、金属工業科、電気科

募集人員：各科40名、合計200名

入学願書受付場所：文部省内高等工業学校仮事務所

願書受付：官報告示の日より5月31日まで

選抜試験日時：昭和14年6月10日午後2時～5時 数学（代数・幾何・三角）、

11日午前9時～11時 英語（英文和訳・和文英訳）、同正午～午後2時

物理、国史 午後2時半より身体検査、12日午前8時より人物考査

試験場：水戸高等学校、東京文理科大学

試験発表：6月20日頃本人宛通知された。

第1回生入学式

7月10日午前10時

場所：仮校舎 旧県立助川高等女学校跡

来賓：荒本文部大臣代理、吉永知事、日立製作所常務、工場長、日立鉱業所長、多賀、助川、日立町長、代議士等 70 余名が参列

会場：三教室をぶち抜いた仮講堂が当てられ、高さ 5～6 寸の演台、卓布をかけた演台が、入学式を飾る簡素な道具立てであった。榮譽をになって居並ぶ生徒 200 名の面上は輝き、新鋭の気張り、内外の物象一として清新はつつならざるはなく、新興の学園を祝福するかの如くであった。

式は厳粛のうちに開幕、まず皇居遥拝、君が代合唱、戦没英霊に対し黙祷のあと山内校長の祝辞が平易な口調で生徒を祝福、激励し、続いて文部大臣の告示、来賓を代表して知事、小平日立製作所社長祝辞、鈴木多賀町長の祝辞があって式を閉じた。

授業開始

授業は入学式の翌 11 日から開始された。学校の付近に在住するものを除いて、総ての学生は鮎川海岸の海水浴旅館を仮寄宿舎としてここから通学した。

仮校舎

門を入れて真正面が校長室と応接室、その両側に一教室があって、向かって右側 4 教室では 2 クラス、左側では 3 クラスが合併授業を受けた。コの字型の向かって左側には 2 教室、右側に渡り廊下がつながり事務所、教官室があった。二階には畳敷の教室があった。元の裁縫室か作法室だったのだろう。ここで昭和 14 年に第 1 学年 5 学級、翌 15 年には第 2 学年を加え 11 学級が授業を受けた。

7 月 15 日 荒本文部大臣の視察があった。

同月 24 日かねてより山内校長が苦心考案してきた校章が出来上がり全生徒に配布された。第 1 学期の授業の開始が 7 月であった為、暑中休暇を抜きにして強行することになった。

8 月 21 日から 6 日間は内原の満蒙開拓青少年義勇軍訓練所で全学生に対し軍隊式教育が行われた。

開校早々で設備が整わず、実験、実習は日立製作所等へ出かけて実施された。鮎川の仮寄宿舎から往復 5 キロの道のりを通学するのは、戦時下とはいえ相当苦しいものであった。しかし、そこから創意と友情と忍耐が養われ、やがてこのことが学校の性格と伝統を形成する要因として重要な意味を持つことになった。

9 月 25 日には学級総代、副総代が任命された。

仮寄宿舎

第 1 回入学生の仮寄宿舎は鮎川海岸の海水浴旅館であった。その名は海風館、島崎館、鮎川館、祝捷館、松島館、山水楼であった。宿舎割りは科別とは関係なく全員をアイウエオ順に区切って定められ、それぞれ 6 つの旅館に巣を定めた。

ストームも早々に、柱の緩んだ二階で相撲をとるもの、海風に霧となってきえる寮雨、ファイヤーストームでは警察、消防車が飛んできたり、単調な食事に文句を付け小母さんにキンキン声をたてさせる等々。青春の絵巻の寮生

活はかく始まった。

開校した年の秋に校友会が設定された。校長を会長に推戴、特別会員（職員）と正会員（学生）、部としては総務部のもとに学芸、音楽、野球、庭球、卓球、陸上競技、蹴球、籠球、排球、水泳、山岳、柔道、剣道、弓道、の 15 部が設けられた。

10 月のある日、岡本昌夫教授が一枚の楽譜を持ってきた、見ると[大空高く光満ち・・・]校歌の楽譜であった。早速近くの助川小学校に行き、ピアノを借り鍵を叩き歌ってみた。私が一番最初に歌ったのが誇りであった。

寄宿寮開寮（南寮・北寮）

昭和 14 年度第 1 回生は鮎川の 6 軒の旅館に分宿しそれを総称して鮎川寮と呼ばれた。

昭和 15 年度第 2 回生は河原子の 12 軒の旅館に分宿し、これを河原子寮と称した。

同年 9 月に建築中の本寮の内南寮、北寮が竣工し、河原子寮の第 2 回生が移った。

新校舎の竣工

昭和 16 年 4 月、新校舎第 1 期工事完了し、常陸多賀里の丘に本館、教室、製図室等 6 棟の約 2,000 坪が竣工、1 年 9 ヶ月お世話になった旧助川高女の旧校舎より移転が行われた。

同月 5 日に教職員、学生が一丸となって、机、椅子、書籍等をみんなが手に持ち或いは擔ついで、隊伍堂々と助川から多賀成沢へ約 3 キロの畦道を通り運搬した。それを後方の高台から見ると、まるで蟻の行列が卵を運んでいるようであり、あの時の光景は今でも目の中に焼きついており懐かしい思い出である。

同月 12 日正午より県学務部長はじめ、関係者 200 余名を招待し、新築披露をかねて創設以来延期されていた開校式が盛大に挙行された。

寄宿舎完成

同年 7 月、校舎の竣工に引き続き、寄宿舎の本館、東寮、西寮が竣工した。かくして寄宿舎の設備は一応整い、鮎川寮の第 1 回生も全員新寮に移動し、開校以来その実現を急がれていた「全寮制度」が、ここに第一歩を印すことになった。

8 月には「寮則」が制定され、寮長、副寮長、委員のほかに各室に室長一名当てが任命され、役員は総勢 50 名になった。

寮歌は仮寄宿舎時代に募集され、1 回機械科の小坂谷君の作詞が入選した。卒業の頃

学生最後の 8 月は全員夏季実習が行われた。卒業後の就職を見つける大切な実習であった。私は当時の花形航空機の勉強の為航空試験所で実習し、試験官にお供をして各航空機の会社の試験に立ち会った。

二学期になり就職割当会社名が毎日発表され、個人と話し合いがもたれた。私は実習中検査に立ち会った内一番気に入った航空機の中でも希少価値のあ

る自動操縦装置を製作していた東京航空計器（株）に就職先を決めた。

10月1日に面接予定の通知が来た。出発前教員室に挨拶に行ったところ、内田精密科長より「原田が開校一番目の就職試験だ頑張って来い、なお会社の福田為造技術部長は東京帝大時代のクラスメートだ挨拶をしてくるよう」と激励された。当日の面接は特別で私一人だけだった。帰りに内定したと報告するように云われ交通費として1円を貰って帰校し、報告した。

引き続き大学受験の学生を除き次々と就業先が決まっていった。

12月7日 第一回生の80パーセント（残りは早生まれ）の学生は徴兵猶予の期限が切れるので波多野配属将校引率で河原子小学校で徴兵検査を受けた。一部の生徒を除き、甲種、乙種に合格、いよいよ来年には軍隊に入隊するんだと身の引き締まる思いを感じた。

翌8日 早朝よりラジオが鳴り響いていた「臨時ニュースを申し上げます。大本営陸海軍部午前6時発表、帝国陸海軍は本8日未明、西太平洋においてアメリカ、イギリス軍と戦闘状態に入れり」

同日正午 宣戦の詔書が發布された。

同月27日 第一回生の卒業式は、修業年限短縮により挙行された。5科合計163名であった。まだ講堂はなかったので雨天体操場が式場になった。正面の右側に日立製作所の小平社長の肖像画が飾られていた。

在校中実験室、実習室でお世話になったが、我々卒業生とすれば初代山内校長の肖像画も飾ってほしかった。

昭和17年1月6日 東京航空計器（株）入社式、東大出身者を含め30名の新人社員が希望に満ち且複雑な気持ちで社長の激励の言葉を聞いた。約8割の新入者が2月には何処かの軍隊に入隊することになっていた。

戦時・戦後の時代を経て

昭和17年2月1日 大阪の野砲兵第四聯隊に入隊、5月1日豊橋陸軍予備士官学校入校、11月 卒業、見習士官

昭和18年9月 スマトラ島に動員下令

昭和20年8月15日終戦

同年9月7日 マレー半島スングパタニにて武装解除、降伏式

同年11月7日 クルアンにて訊問、11日 蘭領レンバン島に抑留、ガラン島開拓作業、

昭和21年5月20日 名古屋港上陸、復員

会社に復員挨拶、会社は米軍に接収され従業員は全員解雇されていた。その後会社は倒産、売却、合併、工場閉鎖、会社応援等で一生が終わって仕舞ったが、学生時代の思い出が一番の思い出であった。

回 想

山田 泰雄（昭19 専機）



多賀工業会千葉県支部創立 50 周年おめでとうございます。

会員諸兄も益々元気に活躍されている事、お慶び申しあげます。

私は 1941 年に多賀工業専門学校（入学した時は多賀高等工業）を卒業し、海軍予備学生に志願して横須賀の海軍機関学校に入隊致しました。あと 3 ヶ月で少尉に任官し、特殊潜航艇に特攻要員として乗り組んでいたであろう処 8 月の終戦で命永らえました。

3 年次に学徒動員（今では死語）で日本建鉄に勤務し入社し、30 有余年従事し退職後も 75 歳まで現役を努めました。

この雑文はその間の印象に残っている事を思い出風にまとめてみました。

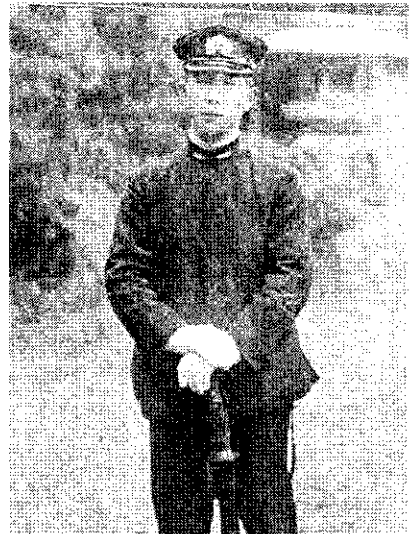
海軍軍人といってもわずか 6 ヶ月の速成訓練で娑婆っ気たっぷりの士官です。訓練としては学科の他に棒倒し、相撲、カッター（短艇）漕ぎ等、一番うんざりさせられるのは起床時のモーショントレースです。起床ラッパとともに起きて着服し、整列するのですがシャツのボタンをせず並ぶと上着のボタンをはずされシャツのボタンをしてない者には腕立て伏せ 100 回の体罰が下されます。

頭の中にたたきこまれるのは“軍人は目先が利いて几帳面、負けじ魂これぞ船乗り”というフレーズです。この言葉は現在でも企業人には適用されるのではないのでしょうか。而して敗戦～復員のコースを辿り会社に復職しましたが戦後の企業はどこも疲弊していて、作る物も大企業でも鍋や釜といったものです。

しかし企業の経営はどこも窮迫していて各地でストライキや倒産が発生しました。日本建鉄もご他聞にもれず 28 年に倒産し、10 年間は管財人の下で管理会社として運営されました。

その後 30 年代になり各社とも生産性が向上し、「もはや戦後ではない」と言う言葉が唄はれる時代となりました。

その頃 32 年に第 1 回生の原田先輩が音頭をとって多賀工業会の千葉県支部



の立ち上げを提唱され設立されました。かくして第1回の総会が船橋市の稲荷屋で開催されました。

その後継続させるために原田さんが払われた努力は大変だったと思われます。名簿の作成、会場の設営等に苦勞されたことでありましょう。それらのお蔭で同窓会の骨格が出来上がりました。かくして、歳月がうつり昭和63年に支部長の任が下りました。三弊君を幹事長に、税所君に副支部長を依頼し、船出致しました。

一番頭を痛めたのは総会出席者の確保でした。年々出席者は漸減して行き、このままでは消滅してしまうのではないかと悩みました。そこで執行部として京成菅野駅近くにある三弊君の知り合いの家をアジトとして三者会議を頻繁に行ったものです。

議題に登ったのが会報の発行と年会費の徴収でした。又各企業内に分会を作ろうという事でした。当時は同窓生が数十名勤務している所がありました。

又異業種懇談会とか、工場見学も計画実施致しました。併しながら総会の出席者は向上しません。だが年会費の納入は予想を上回り多い時には会員の1/3近くに納めて戴きました。

会報は現在でも年2回のペースを保って発行されておりますが、衆知をあつめて一層充実したものにしていただける様切望致します。会報のもつ効果の一つとしてグループの意識の高揚にあると思います。これは私達地域の老人グループで退会しない理由の一つとして会報の発行にあるようです。多賀工業会は先人のご努力と会員皆様のご協力によりまして今日の隆盛が築きあげられたものであり、この記念号は会員各位のご協力そして将来に向けて多賀工業会を担うすべての人々の努力が輝かしい六十年、七十年の記念誌の編集に結実して行く事を祈って筆を擱きます。悪文ひらにご容赦ください。

遙かな多賀工専

中村 善一郎（昭22専電）



来年で卒業後丸六十年になるが、何時頃からか突然多賀工専がいとおいしいと言うか有難いと言うか、時に抱きしめたい様な懐かしさを覚えるようになった。長い事、多賀工専は大学への通過点としか考えて来なかったのに、百八十度の価値観の変化である。

思えば昭和十六年に大東亜戦争が始り、十八年に学生の徴兵猶予が無くなり、学業半ばで出征の所謂学徒出陣の様子が新聞紙上を賑わし、ニュース映画で勇ましく報道され、戦局の容易ならざる様子は、軍部の発表とは別に、ひしひしと迫ってくるものがあった。

旧制中学の四年生であった私は、日頃一族の中で最も尊敬され、信頼されている大学教授の伯父の一言で、受験態勢が一変した。中学五年生は授業は

無くなり、軍需工場に行くことになるようだから、何処でも良いから理工系に入っていること、そうすれば一年は授業がある筈だからと言われた。

もともと商家に生まれて四代目の私は、小学生の頃は商業学校へ行くのかとぼんやり思ったりもしていたが、卒業の年が紀元二千六百年(西暦より六百六十年古い皇紀といった)であり、支那事変が始って3年目、米穀肥料商であった家業は戦争遂行の為に統制され、配給制となり、何時再開するか分らない閉店状態で、急遽普通中学への入学となった。そして上級学校への受験を迎えたのであるが、当時、医薬農を含む理工系は25歳までの徴兵猶予があり、文系(含む農業経済)は20歳で打ち切りであった。当時百年戦争等の言葉もあったように、戦争の長期化は皆覚悟させられていたが、何はともあれ可能な限りの延命をと、精一杯の策を練っての受験でもあった。

多賀へ入学後、伯父の言ったように、1年間は普通の授業があったが、2年になると、軍需工場通いが始った。その後はヘレンケラーの三重苦よろしく、1トン爆弾攻撃、焼夷弾攻撃、艦砲射撃と散々な目に合い、内地日立がまさに戦場と化した。1トン爆弾の時等、工場から寮への帰り道、米爆撃機に日本の戦闘機が群がっているとばかり思っていたら、やがて戦闘機に見えた黒い粒がぐんぐん大きくなり、万年筆大の群になったとき爆弾と判明、あわてて道端の窪みに両手で目と耳を力一杯覆って倒れ込んだり、また艦砲射撃の時は、夜であったが真昼の明るさになり、そのうち雨が降り出したので、道端の側溝に入り、傘をさしていた。昔から雨乞いの時に大々的に火を炊く事を思ったりしたが、雨量の増加と共に側溝の水流も強くなってくるので、あわてて飛び出して、防空壕を探したが、頭だけ入れて身体は外に出ている有様であった。多賀へ来て2年目の夏に戦争は終わった。

戦争が終わってみると、もう徴兵猶予を考える必要は全く無くなり、併せて理工系の必要も大分意義が薄れてきたが、その後縁あって森禎先生のお宅に、同郷の友人と下宿する事になった。森先生は一高・東北大卒後、日立製作所勤務の後、終戦と共に退社して、多賀工専の教師をしながら、夫妻共々キリスト教信者の生活を続けておられた。私が仙台に行ったのも、森先生の影響が大きかったと思う。森先生の奥様のお兄様も私の伯父も一高・東大卒で、一高に対する特殊な感情は、終戦時の出直しの迷いを含めて、大分続いたように思う。

星霜移り、人は去り、その後出身中学(現在高校)の同窓会役員にさせられて、卒業式・入学式において、挨拶するようになった。その時々には様々な内容の話をしたが、必ず強調する事柄があった。「皆さんは戦争の為に学業を中断される事も無ければ、方針を変えさせられる事も無い。自分の思う通りの道を、例え時間が掛かっても全うして欲しい。悔いの無い学生生活、ひいては人生を送って欲しい。」そしてその後ある時、全く突然に、啓示というものが実在するならば、この事を言うのではと思える感慨に襲われたのである。

「多賀工専、あれは私にとっての駆け込み寺であった。大東亜戦争下の東慶寺だったのだ。」と。

それ以来、多賀工業会千葉県支部の総会・新年会は出席が続いている。今後も生ある限り、出席を続けたいと思う。

(06 年 7 月 7 日記)

多賀工専在学当時の思い出

関 誠治 (昭 22 専機)

1. 昭和 18 年 3 月大東亜戦争も酣(たけなわ)を迎える。旧制中学を卒業し、水高と多賀高工(以下本校とす)を受験、いずれも失敗。無線電信講習所高等部(現在の電通大)は合格したが、東京での一人暮らしに自信が持てず、入学辞退し浪人を決意。

当時の高校は倍率は左程高くなかったが、入試が難しく、余程の進学校でないと合格できなかった。翌 19 年 3 月滑り止めも選択せず、本校機械科一本に絞り再度挑戦。受験当日は大雪に見舞われたが、交通は途絶することなく、無事試験終了。

この年は徴兵延期制度の改定があつてか、理工系に殺到し、合格者の割合は、機械科で 9 人に 1 人の超難関コースとなった。更に中学 4 年修了者にも受験資格が与えられ、志願者が増大した為と思われる。入試問題も新傾向化し、我々浪人組みには不利となったようだが、幸いにして数学では山が当たり、満点の正解を得て大変嬉しかった。この感激は生涯忘れえぬものとなった。



2. 本校は全寮制となっており、全員が寝食・勉学を共にし、目的の遂行・人格形成の場とされている。私は東寮 8 号室に入寮が決まる。姓名のアカサタナ順で部屋番号が掲示され、小林・佐藤・鈴木・高橋・中村・渡辺君等は必ず 2~3 人同姓者が居て、健さん・一ちゃんとか名前を呼び合ったりした。中には同じ中学出身者だと、あだ名で呼んだりしたものである。

4 月 7 日各自が持ち込んだ寝具類や私物の整理。机とか本棚は寮設備。これも姓名順で場所が決まり、一日かけて整理整頓を終了。一部屋の面積は 8 畳 2 間、勉強室は 18 畳、生徒数 12 名となっており、広さは十分である。炊事当番や部屋掃除当番も輪番制で、2 名ずつ選出される。風呂は食堂棟と同一階にあり、一度に 15~16 名程入浴できる大きさで、住環境は家庭に居るより余程良いと思う。その夜大食堂で新入生の歓迎会が行われた。寮監や先輩達の訓話は注意事項・伝達事項等いろいろ有益な内容に感動を覚えたものである。消灯時間前に先輩の点呼を受ける。一年先輩の両角さんが訓話を述べる。

「諸君は若い。そして若い故に悩む。恋愛関係・死生感・友人家族・勉強に関すること等諸々の悩みを通して精神の向上を図り、価値有る人間となることを望む。以上分かったか」と云われ、はい分かりましたと答えたものの、言葉明瞭にして意味不明といった感じだった。ただしいずれにせよこれが一年先輩の上級生から出た言葉かと思うと、哲学者に思えた。僅か一年でも高等教育を受けるとさすがに違うものだなあと、人間形成の格段の進歩に驚嘆したものである。我々も来年の今頃には、両角先輩の様になれるかと、心の引き締まる思いを強く感じた。そして、翌晩からの3日間校歌と寮歌をレコードを聞きながら猛練習した。校歌はすぐ覚えたが、寮歌は歌詞が長く、なかなか覚えられなかった。それでも先輩の指導を受け、3番までは歌えるようになった。今日一日は色々あって、消灯時間を過ぎてても眠れなかった。

3. 4月8日午前8時、玄関傍の寮庭広場に新入生全員が各課毎に2名宛縦列に並び、寮監の点呼を受けた後寮を出発し、集団登校する。上々の天気であった。機械科イ組80名同ロ組80名（入試の際は精密機械科だったが、学制改革により機械科に統合）原動機科80名、電気科80名、電気通信科80名、船用機関科40名、付設工業教員養成所80名（機械30・電気30・金属20）。学校へ到着すると、各科の教室に案内され、機械科科長の真野教授に接見、挨拶を行った後、講堂（入学式場）へ向かう。午前9時、君が代の斉唱で入学式が始まり、早川校長より新入生を迎える祝辞と戦況の現況や物量に勝る連合軍の反転大攻勢に前線の各地で撤退や玉砕を余儀なくされ、やがては本土決戦も近いであろう。在学期間も2年半と短縮され、大いに勉学に精励し、一日も早く技術力を習得され、祖国日本の将来を担う人材と成るようにとの訓話があった。生徒達は皆国策に沿うべく決意を誓ったものである。而しそれから1年後の夏には敗戦を迎えようとは、誰もが信じられなかった。

4. 入学の1ヵ月後には学制の改革により、校名の変更や組織の変更が行われた。

高等工業学校→工業専門学校となる。

高等商業学校→経済専門学校となる。

高等農林学校→農業専門学校となる。

都道府県立師範学校→国立師範学校・専門学校に昇格。

5. 授業時間・中間および期末試験・夏休みについて

中学時代の1時間の授業は50分だったが、本校では90分間となり、最初の頃はとても長く感じたものである。腕時計を見ては、あと何分と早く授業が終わるのを待遠しく思った。

特に高等数学の松原教授（水高の先生で本校兼任）とか、流体力学の井

原教授は熱弁だったが、下を向いたり居眠りしたりすると白墨が飛んできたり、時には教室を追い出されたりする事もある。兎に角恐ろしかった。試験は1学期で5月と7月に実施された。普段余り勉強していないので、寮内で徹夜でガリ勉したものである。消灯時間は午後10時となっていたが、試験中は大目に見て貰っていた。さて本試験が終わると、1ヶ月の嬉しい夏休みが与えられた。7月21日より8月20日までの期間。生徒達が実家に帰省した頃親許に学校より成績通知書が送られてくる。これは1科目でも落第点(40点以下)をとると、落第の恐れがある。「夏休み中に苦手科目を克服されるよう、ご子息の指導監督をおねがいます」と書かれている。本人は勿論両親の驚きは想像に絶するものであったと思う。

2学期の始まる8月20日友人たちと再会した折に「イヤー参った。エライ恥をかいたよ」とこぼす者が十数名程現れた。しかし皆日焼けした顔で、新入生の頃からみて一段と逞しさを増していた。

6. 此の夏休みに満州に住む両親の許へ帰省した山下智乗君とは、代返を頼んだり頼まれもした仲である。此の頃、ソ連国境付近では関東軍との間で度々戦闘が繰り返されていた。日ソ不可侵条約が締結されてはいたものの、ずる賢いソ連には通用せず、帰国寸前になって、満鉄が爆破され、帰国の足を奪われ、内地へ戻ることが出来なくなって、退校せざるを得ず、その後音信不通となる。しかし縁は異なるもので、卒業後数年たって、役人(ボイラー検査官)を退官し、昭和28年4月空調設備工事会社(現大気社・当時建材社)に転職した際、山下君の弟(一乗さん)と同僚の間柄となり、60歳の停年になるまで長い付き合いとなった。兄の話が時々出て、多賀に戻れなかったのが非常に残念と、失意のどん底に落ち込んでいた由。彼も戦争の犠牲者か気の毒である。

7. さていよいよ2学期が始まると、専門教科や実験実習また設計製図等の時間が増え、勉強が追い付かなくなる。秋の陽はつるべ落としとって暗くなるのが早く、まるで夜学にでも行っている感じだ。特に毎週木曜日の午後の3時間目は軍事教練のある日で、天気が晴れるように祈ったものだ。雨の降る日などの時、歩腹前進や突っ込めの命令を出されると、服や靴の汚れがひどく、若い配属将校は特に苦手だ。教練を欠席すると訓練時間数が不足し、将来陸海軍の幹部候補生が与えられず、将校への道が閉ざされるので、少々身体の調子が悪くとも出席したものである。

8. 秋は稲の収穫の時期、農繁期を迎える。市町村役場の依頼を受け、学校行事の一環として勤労奉仕に行くことになった。行き先は栃木県下都賀郡真岡の農家の集落、科によって行き先は異なる。中間試験が終わった10月中旬現地へ赴いた。農家1件当たり4~5名宛分散投宿。当夜はご家族の歓迎ご馳走を受け、滅多に口に入らぬ純米の真白いご飯を農家の人達が呆れ

るほど腹いっぱい食べたものだ。皆嬉しそうな穏やかな顔をしていた。

3泊4日の旅程もあっという間もなく終わった。慣れぬ手つきではあったが、頭を使うことは無いので、稲刈り・束ね・運搬等の作業で疲労は余り無い。広い関東平野そして大空の下、明るい陽光を浴びて、気分は爽快だ。来年も又ここへ来られたら良いなと思いながら帰途に着いた。けだし来年は終戦となり、奉仕団は自然消滅。私は元来胃腸が丈夫であり、下痢など殆ど患ったことは無かったが、1日目2日目の食べ過ぎで、仲間から数多くの急性下痢患者が出たようである。今思えばこれも笑い話の種となっている。

9. 2学期3学期と大過なく過ぎ(さほど大過と思わぬが、当時では大過扱いとされ、恥ずかしい事なので、真相を語れないのだが、一部紹介する。)

その1、日立的映画館へ。上原謙・高峰三枝子主演のラブロマンス“暖流”を見ての帰り道、憲兵隊員の詰問を受け、時局を何と心得るかとばかり、往復ビンタを喰らった。

その2、同僚の浅川君(後に東北帝大鉱山学科進学)と午後エスケープした際、裏手校門より出て、鮎川の丸木足場の橋上で、奥村教授(修身道德の先生)と合い、学校に連れ戻され、即刻退学せよとばかり、きつい叱責を受けたことなどあったが、昭和20年4月数名の落第者(休学者も含め)が出たが、殆ど2年生に進学し、本寮を出て近くの分寮(元日立製作所工員宿舎跡)へ集団移動する。戦争も益々熾烈を極め、艦砲射撃・B29爆撃機による日立工場への爆弾投下、市街地には焼夷弾攻撃が相次ぎ、さながら生き地獄を見る思いだった。艦砲射撃では犠牲者が出て、その人の遺骨を故郷青森県津軽郡田舎館村の両親の許に届けに行った記憶が昨日の事のように蘇る。帰途弘前城へでも行ってみたいと思ったが、物見遊山の旅ではないので、すぐ学校へ戻ることにした。車中で冥福を祈る。

10. 昭和21年4月、3年に進級する。卒業計画の作成や、担当講師の指導の下に論文の纏めに没頭する。戦後の混乱期を経て、昭和22年3月卒業するも、就職先は全く無く、大学へ進学するか、中学の先生になるか、役人に成るしかなかった。そこで厚労省労働基準局安全課に奉職し、ボイラー検査官となった。出張が多く、結構楽しかった。役人は気楽な商売である。失敗しても責任は無く、リストラされることも無く、何の功績が無くとも給料は年々上がり、地位もそれ相応に上がってゆくので世の愛妻家にはもってこいの商売だと思った。

以上本校在学当時の様子を纏めて乱筆した。

クラス会にまつわる級友たちの思い出

明石 和夫（昭22 専金）



昭和22年の3月に工専金属工業科を卒業できた者は72名であった。平成18年8月末の時点で、上記72名中生存者は44名（～61%）、物故者は25名、住所不明者は3名である。他学科の同期生に比較して、これらの数字は多いか少ないか、多分似たり寄ったりであろう。因みに、小学校の卒業時の同期生（男子）50名中生存者は23名（46%）、物故者は24名、住所不明は3名、中学校の卒業時の同期生159名中生存者は85名（～53%）、物故者65名、住所不明者は9名である。卒業生数は異なるものの、明らかに小、中、高の順に、生存者の比率は高くなっている。このような傾向は一般的なものではなかろうか。理由はいくつか考えられるが、ここでは特に触れないことにする。

本題に戻る。本年5月29日に、久しぶりで工専金属工業科のクラス会が、上野精養軒で開催された。出席者は22名で、生存者の半数に当たる。欠席者22名中の約半数の人は、体の故障のため出席は無理とのことであった。さて同期には浪人生が多く、特に本来文系志望の駆け込み入学者が、かなり大勢、隠れキリシタンのように潜んでいたようである。金属工業科の吼洋寮への入寮者は南寮と西寮に別れ、西寮では12号室の半分と13、14号室を占めた。偶然とはいえ、この13、14号室には、いわゆる「わる（悪）」が多く、他の寮生たちからは、西寮の一隅は無法者の集まる別天地のように見られていた。夜間何人かが協力して食堂に忍び込み、残り物を部屋に持ち帰り、ありがたく頂戴するなどは、寮監や寮長を嘆かせる悪事の一例であった。しかし、純真無垢（？）に近い真面目な寮生とは異なり、「わる」の連中は実際には「大人」の集団であって、ある年長者のボスの下に、無茶をしているようでも暴走せず一定の節度を保っていた。10年以上前に多賀の地でクラス会を開催した折、そのボスが真面目な教育者に変身していることを初めて知ったが、それから間もなく、この世を去ってしまった。忘れがたい思い出である。筆者は西寮12号住まいで、「大人」の級友たちからは気の小さい少年のように思われたに違いない。同室の金属工業科の仲間は皆私より先に逝ってしまった。その1人、有賀良治君は、日本鋼管株式会社（現在のJFE）在職中から油絵の製作に熱中し、独特の画風を確立してアマチュアの域を超えてしまい、最近まで個展を何度も開いていたのに、残念なことである。

南寮の級友達は多士済々、特に文才に長けた連中が多かった。毎日寮に残って、名作の文学書や哲学書を読みふける者も居た。炊事委員長、全寮の寮長、製塩班のリーダーとして、大勢の寮生達に尽くした塩田信雄君は、同期では最年長者の一人である。今も多くの同窓の会合でよく歌われる吼洋寮逍遥歌の作词、作曲者としても名を残している。製塩班には熱いリーダーの思いに応じて真面目な勉強家の数名が結集し、他学科の人も加わり、鮎川の河口付近の海岸で、電熱製塩に昼夜を分かたず励んだ。物質的な見返りは何もない完全なボランティアの集まりである。この塩が物々交換でお米に変わり、吼洋寮の食料危機を救うのに、どれだけ役立ったことか。昭和21年ごろの話である。操業中、思わぬ事故で犠牲者が出て、リーダーの心労は並々ならぬものがあったと思われる。塩田君は杓に収まらない大器の人であり、技術者として新製品の開発と商品化が得意であった。最近は糖尿病やがんを克服しつつ、意気軒昂として健康食品（特に飲料）の開発・普及に全力を傾注していた。今年のクラス会には車椅子に乗って息子さんの介添えで出席した。夏に入り級友の一人から訃報が入った。クラス会がお別れの会になった。これと似たような経験をすることが多くなり、わが身の終焉を思い、身辺整理をと思いつつ未だ果たせずにいる。

製塩班の1人、故松永吉之助君は、製鉄の専門家として名を挙げたが、私とペアーの卒論研究を、事情で欠席した私をかばいつつ、一人で発表してくれた。お陰で私も無事卒業できた。この恩義は忘れられない。

南寮のもう1人の最年長者として橋本雅彦君は、理系人間の典型ともいうべき人で、専門科目全般について抜きん出た実力を持ち、誰も頭が上がりなかった。卒業後、東北大学の金属材料研究所に勤め、尊敬する教授の下で研究に励み、成果の企業化に力を尽くした後、姫路工業大学の教授に転じた。チタンの新しい製錬プロセスの開発を生涯のテーマにし、昨年も小生当てに、ある研究会から依頼されたチタン関係の新原稿が送られてきた。それが日の目を見ないうちに、卒然と逝ってしまった。クラスを代表する塩田、橋本の両巨頭が去り、めっきり淋しくなったが、残された者たちは、クラス会だけは続けられる限り毎年開催しようと申し合わせている。

寄稿

スペイン幻想紀行

塚越要夫（昭 25 専電）

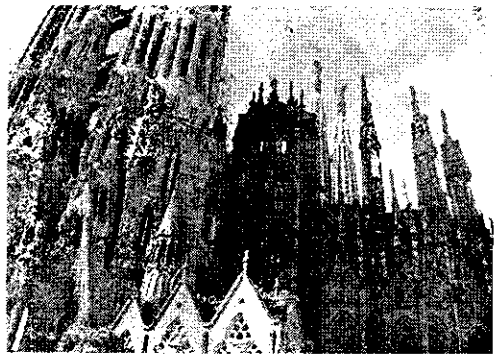
8時間の時差を克服して、バルセロナ空港に無事到着した。成田からの直行便がないので、スイスのチューリッヒ空港で小型機に乗り換え、現地時間午後7時に待望のスペインに足を踏み入れたわけである。（所要時間：約 15 時間、今は日本の午前 2 時）4 月からのサマータイムのこともあり、この地はまだまだ明るい。

「炎帝や機窓に傾ぐ地中海」^{かし}（炎帝：夏をつかさどる神）

泊まりは、バルセロナ郊外の海沿いのリゾートホテル。地中海の深い蒼を背景に、その砂浜に最初の足跡をしるした。

第 1 日目

なんといっても、アントニ・ガウディのサグラダ・ファミリア（聖家族教会）である。その巨大な芸術作品に圧倒された。1822 年に着工されたこの建造物は、ガウディが 1883 年にそのプロジェクトを引き継ぎ、彼が事故で 1926 年に亡くなった後、今は近代工法を取り入れて急ピッチで施工中であり、10～20 年後には未完の聖塔を含めすべてが完成する予定といわれている。



キリスト生誕から復活にいたる壮大な主題をもつ聖塔群を見上げ、我らの存在の小ささが痛感されるひと時であった。

ガウディ語録：創造は人間を通して休みなく続けられる。しかし、人間は創造するのではなく、発見するのである。

「聖塔や贖罪の門枇杷太り」^{しよくざい}（人類救済のための十字架、そして復活）

続いて、バルセロナ市内のグエル公園、カザミラ、カザバトリヨなどガウディ作の建造物を見学後、モンジュイックの丘に立ちバルセロナ市内・地中海に繋がる港湾地区を展望した。その大景を前に、ローマ帝国が西暦初頭の約 700 年間にわたりイベリア半島を支配したときのことを思った。この時にもたらされた最大の文化遺産がキリスト教（カトリック）であるといわれる。

午後からは、ピカソ美術館で少年時代から晩年に至る作風の変遷を学んだ。

(パブロ・ピカソは、スペイン南部のマラガで生まれ、19世紀末から20世紀初頭にかけてバルセロナに滞在した)

本日閉館中ということでバスの中からの見学となったが、2万人収容の闘牛場の圧倒されるような門構えに、一日に6頭もの雄牛が大観衆の興奮の中でマタドールにとどめを刺されるという状景を想像してみた。日本人には刺激が強すぎる？ので、観光ツアーにはあまり組み込まれていないとか。

今日の泊まりは、地中海に添うオレンジで名高いバレンシア。

今日の気温は30度を超す。然し、湿度が低いのでまずまずの快適環境である。海水浴場は花盛りで、陽気なご当地の若者達が平和な時間を楽しんでいた。

第2日目

今日の見所は、セルバンテス作「ドン・キホーテ」の舞台、ラ・マンチャ地方の風車である。

ここには、粉ひきの石臼を動かすための大きな風車が観光用に十数基保存されていて、内部の仕組みが見学出来る。(ドン・キホーテはこれを巨人と見立てて従者のサンチョ・パンサの制止を振り切り、痩せ馬ロシナンテに鞭打って突撃した)

白い風車と白い街、鄙びた地区であるが小さな土産店もあり、立ち寄ると母娘と覚える店員が途切れ途切れの日本語で愛想を述べてくれた。

「広重と出会うラマンチャ薄暑かな」 (店内に広重の役者絵が貼ってあった)

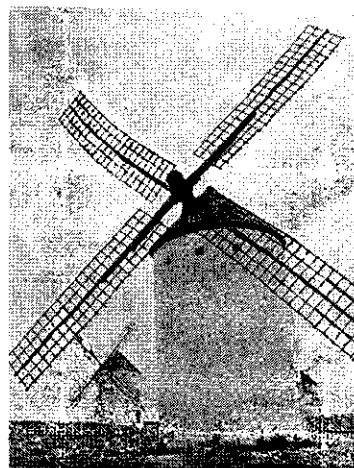
午後は、バスで強行軍5時間ほどを飛ばして、スペインの南部アンダルシア地方へ向かった。この辺からオリーブの栽培が目立ち、小高い丘の上から平地にかけて革質状の緑の畑が続いている。

グラナダのホテル着が早かったので、近くを散策した。至近距離に残雪の嶺が見える。シエラ・ネバタ山脈で、3000メートルを越すという。ホテルの横からゲレンデへと続く道案内があった。これは、驚きであった。

日本のものより色の鮮やかな夾竹桃の花が咲いていた。エニシダの黄色の花が群れており、アマポーラと呼ばれるひなげし風の赤い花も点在していた。

第3日目

いよいよ、アルハンブラ宮殿である。ここグラナダは、8世紀初頭にアフリカ大陸からジブラルタル海峡を越えて北進し、ほぼスペイン全土を支配するに至ったアラビア勢力(イスラム教)が、キリスト教徒の反抗(国土回復の戦い・レコンキスタ)にあって約800年後の15世紀末に漸く屈服、最後の砦として死守した地である。こ



の宮殿は、イスラムの最後の華として建造された水の宮殿・薔薇の宮殿であり、王侯貴族の生活ぶりも想像され息を呑むように美しい。

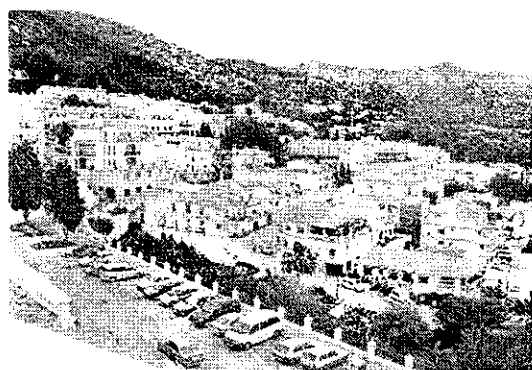
イスラムの独創性高い美的センス・装飾芸術など鑑賞価値の高い造形が基本的に残されており、現代人も深い感動を覚えるのである。寄せ木細工・石膏細工などによるイスラム紋様の天井も見事。

124本の大理石柱が囲む中庭は、12頭の獅子の彫像が水盤を支えており、順送りに水を吐いて時刻を知らせる。その水はサイフォンの原理でネバタ山脈から引き込んでいるというのだ。

「王宮のパティオや獅子と薔薇と水」(パティオ：スペイン建築の中庭)

王家の夏の離宮「ヘネラフェ庭園」は薔薇の花盛りであり、ここからアルハンブラ宮殿が一望に見渡せる。

1832年、アメリカ公使館書記官アーヴィングが著した「アルハンブラ物語」にその幻想的な世界が紹介されている。



午後、ミハスへ移動。いわゆるスペインの「白い村」のひとつである。この国の眩しい程の太陽には、この白い家並みと石畳が良く似合う。汚れなき純白な壁、ベージュ色の瓦屋根、瀟洒なシンプルな景観。緑の森の先は、ジブラルタル海峡である。郷愁ひとしおの感じで、次々とシャッターを切った。

今日の泊まりは、セビリア。ホテルの入り口で、人丈ほどもあるブーゲンビリア

の赤紫の花垣が我々を出迎えて呉れた。

第4日目

見学先の事情により、まずコルドバへ移動。

8世紀末、イスラム教徒がコルドバをスペインの首都と定めたことにより、当地には太平の日が続き、芸術・文化・科学・医学などが育った。その中で開花したイスラム文化の最高の結晶が大モスク・メスキータである。その後、レコンキスタを経てカトリック礼拝堂に改装されたが、創建当時の偉容はほぼ残されている。ここは、世界でも最上級のモスクであり、林立する赤と白のだんだら模様の二重の馬蹄形アーチ回廊は荘厳な世界を醸し出している。



主祭壇に嵌め込まれた聖書物語のパネルと磔刑像、大きなステンドグラス、古色蒼然なパイプオルガン、宝石を鏤めた王冠など、観光客の目を奪う。

「メスキータ^{メスキータ}磔^{はりつけ}刑像に灯取虫」 (十字架を照らす僅かな灯に、蛾が?)

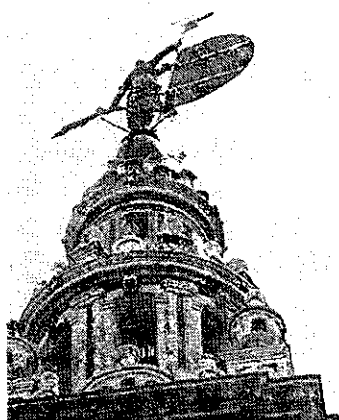
通称「オレンジの中庭」には、大きな果実が揺れている。その枝越しに、今はカトリックの鐘楼に改装された見事なイスラムの祈りの塔が聳えている。ゴシック風の芸術作品を思わせる。

スペインの人達は、花が好きである。道の両側のアパートの出窓に小さな植木鉢を下げて外へ向けて花を育てている。壁が白いので美しい演出となっている。その「花の小径」の奥に先ほどの塔が見える。

午後、セビリアへ戻る。

このコルドバ〜セビリア間の道路添いには、向日葵畑が満開の花時を迎えており、窓の左右に風景が流れて車内は大はしゃぎであった。

大聖堂（カテドラル）の主祭壇の大壁面には、キリストの生涯の各場面が36枠多彩色の木彫りパネルで現され、全体で物語が完結する。各所に金箔が施され、その荘厳さは世界最大のものといわれる。鉄柵を挟んだ前面の聖歌隊席、上部のパイプオルガンも逸品である。入り口の一郭に聳えるヒラルダの塔は、12世紀末メスキータとはほぼ同時期に建てられたスペインで最も高い祈祷塔であったが、その後カトリックの鐘楼として、ルネッサンス風の塔が更に継ぎ足された。最上部の女人像が持つ旗が風によって回転するので風見（ヒラルダ）と呼ばれる。二つの文化の融合をなした見応えのある塔である。

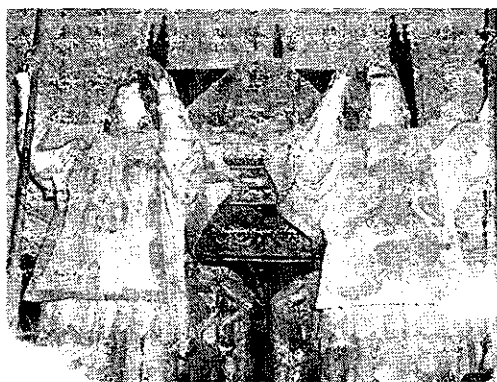


また、聖堂内の一隅にコロンブスの墓があり、アメリカ大陸発見の第一歩となったスペイン王家イサベル女王との会見のドラマが刻されている。(様々な論議があったが、最近のDNA鑑定で遺骨は本物と認定されたそう)

12角形の黄金の塔、巨大な劇場を思わせるスペイン広場も見所であった。

さて、セビリア駅発マドリッド・アトーチャ駅行きの新幹線乗車である。

この新幹線（AVE）は、フランスTGVの技術導入により、2003年に開通したもので、乗り心地は上々、時速300km、全区間2時間30分で走る。航空



機並に荷物のX線検査があるのには驚いた。マドリッド着、宿泊。

第5日目

待望のプラド美術館見学。限られた時間であったが、ベラスケス「ラス・メニーナス」「織女たち」、ゴヤ「裸のマハ」「着衣のマハ」「カルロス四世一家」、ボッシュ「快樂の園」、エル・グレコ「胸に手を置く騎士」など、主な絵を重点的に鑑賞した。素晴らしい力を感じた。日曜日であったが、常設展のためか日本の美術館より空いている。(展示室の広さも違うのだが)



また、「フラッシュを使わなければ写真を撮っても良い」という有難い話であったが、手持ちではそううまく撮れるものではない。

ソフィア王妃芸術センターにも回ったが、一部改装中で、目当てのピカソ「ゲルニカ」には、お目にかからずじまい。この絵は、スペイン内乱の際に北部の町ゲルニカに対するナチスの無差別爆撃に抗議して描かれたというピカソの代表作

品(1937年)であると、ガイドの説明があった。その他のダリ、ミロなどの作品は鑑賞できた。

昼食前に、スペイン広場に立ち寄った。ここは、セルバンテス没後300年を記念して造られたもので、「ドン・キホーテ」を偲ぶ像が立っている。南の方向に王宮(現在は迎賓館として使用)の豪華な白亜の建物が見える。

午後から、最後の訪問地トレドへ向かった。

トレドは、レコンキスタの後、統一スペインが世界に覇をとなえた頃の首都として繁栄した。その後、マドリッドに遷都されるが、宗教的な中心としての存在感は残っている。また、タホ川に囲まれた旧市街の景観は美しく、全体が世界遺産として指定されている。

まず、90mの鐘楼を持つカテドラル。ここはスペイン・カトリックの大本山である。フランス・ゴシック様式で13世紀に建てられたこの建物は、その後の改装により、ルネッサンス・バロック・ネオクラシックなどの様式が導入され、建築芸術として楽しめる。内部に入ると、数百枚にも及ぶステンドグラスに目を奪われる。まさに「神の家」という雰囲気醸し出している。礼拝堂の祭壇は、「受胎告知」からイエス・キリストの生涯の各場面が一流の彫刻家たちの共作により、



木彫りに彩色・金箔で仕上げられている。

最頂部には荘厳な磔刑像がおさまる。聖歌隊の椅子席には、グラナダ陥落を記念した彫刻が施されている。宝物庫にキリスト聖体祭に担ぐという黄金の「聖体顕示台」が飾られていた。

次に、サント・トメ教会に回った。ここには、エル・グレコの最高傑作といわれる「オルガス伯爵の埋葬」が飾られている。この教会を私財を投じて再建した同伯爵の昇天の場面が天国と現世の二段構成で華麗な色彩により描かれている。

バスでマドリッドに戻る。

宿で休憩後、日が落ちてから市内のタブラオに繰り出した。ここは、食事とワインとフラメンコショーの店である。なんと言っても、スペインに来たら本場のフラメンコに触れなくちゃ。1時間半程であったが、流石の迫力である。締め括りは、男性ナルシストの迫真の演技。その雰囲気圧倒されて、興奮の渦。「オーレ!」「オーレ!」と観客席は大騒ぎであった。



第6日目

目が覚めたら、今日はスペインとお別れの日。往路と同様にスイスで乗り継ぎ、成田へ帰着した。家に帰ってからの2～3日は時差呆けが続いていた。

—後記—

駆け足で回ったスペインの5日間であったが、正に幻想の世界を堪能させて貰った。イスラム教文化とキリスト教文化がかくも違和感なく造形美術として融合している現実に感動を覚えた。精神の高揚を感じたのである。背景にある人間・神そして宗教とは何ぞやという、大変な問題がそこから投げかけられているように思う。

スペインの歴史は、激動のドラマである。1975年にフランコが死去。ホアン・カルロス1世が国王として復帰し、新憲法も出来て今は民主的な「立憲君主国」として、国情も安定している。

日本の皇室との交歓もあり、国同士の付き合いは極めて宜しい。37ヶ所もの世界遺産を有するという希有なこの国に深い魅力を感じるものである。

「メールで五七GO」

小白井和典（昭28学機）

“海に出て 木枯帰る ところなし”

山口誓子 昭和19年作



昭和29年（1954）就職して1年、農耕発動機的设计をやっていた頃、細い血痰を吐いて、村松晴嵐荘に入院した。その頃 俳句会と言う集まりに誘われ、その席で山口誓子のこの句を知った。

生きる希望を失い、社会復帰は絶望にも近い心境にあったときに、この句を読んだ感動は今も忘れない。

右肺下葉切除手術を受け前後3年の村松晴嵐荘での結核療養を経て、昭和32年社会復帰を果たした。平成6年8月、66歳で、定年退職し年金生活に入った。丁度

この頃、日本大歳時記 座右版 を友人から贈られた。

また、国家資格；技術士（機械部門）、1級管工事施工管理技士並びに20年余の現地工事施工監理技術者の実務経験；が買われて、ある会社と嘱託契約を、結ぶことになり、それから7年間ほど、それこそ想定外の収入を得る幸いにも恵まれた。

折角の人生、何とか出来そうなことは、出来るだけ多くやろうと心に決め、亡き母との約束である四国八十八ヶ寺巡拝、を皮切りに西国三十三ヶ寺、坂東三十三ヶ寺、と周り10数回の海外旅行、国内では、囲碁、寄席、国公立研究所見学、会社見学、お江戸歩く会、友人とのゴルフ、鮎の友釣り、富士山を巡る電車の旅、などなど見知らぬ人との出会い旅、が多い。

同時に、多賀工業会の千葉県支部、東京支部、埼玉県支部が工専諸先輩達の永年のご継続ご尽力により、毎年度の総会、囲碁、ゴルフ、写真、俳句、など和気藹藹、気の置けない御交情が有り難く、大分お世話に成って来ている。又最近はJASS（日本セカンドライフ協会）俳句サークル用の句稿をメールで発信、句会終了後は又メールで結果の報告を発信、など2桁程の友人たちに話題提供の心算なのだが、ご迷惑かけ？恥じかき？を鉄面皮にも、やっております。以下は2006年8月例会のものです。

06/08/01 JASS 句会 私の句稿 兼題：墓参り、当季雑詠併せて4句

故郷の川 姿は見せず 河鹿笛 ◎☆

剪定や 玉石を踏み 墓洗う ◎

皺の手や 無心に洗ふ 父母の墓 ◎☆

蔑みや 父似の性の 宝くじ ◎☆

◎印 JASS 句会投句、 ☆印多賀工業会千葉県支部50周年記念俳句大会投句。

06/08/01 JASS 句会報告 「兼題：墓参り、当季雑詠と併せて4句投句」
 高点句のみ示します。

氷旗 昔も今も 漢 一字	9点 (特選1)	新
山並を 空に画きて 梅雨明けり	9点	泰
掃苔や 箒の音に 母浮ぶ	6点 (特選2)	ヒロ
茄子の馬 太きウドンの 手綱かな	5点 (特選1)	利
葎陰に 鳩(かいつぶり)の浮き巢や 舟一つ	5点 (特選1)	克
長雨の 中で待たるる 蟬の声	5点 (特選1)	忠
父征きて 遺骨なきまま 墓参り	4点 (特選1)	克
皺の手や 無心に洗う 父母の墓	4点	和典

特選：全員の投句中 各選句者から1位に選ばれたものを言う



「寄りかからず」 (茨木のりこ 朝日新聞(追悼特集)2006/7/18) より

“もはや できあいの 思想には寄りかかりたくない
 もはや できあいの 宗教には寄りかかりたくない
 もはや できあいの 学問には寄りかかりたくない
 もはや できあいの 権威にも寄りかかりたくない
 ながく生きて 心底学んだのはそれぐらい
 自分の耳目 自分の二本足のみで立っていて
 なに不都合のことやある “

私としては、昭和1桁生れの自分が、今在るのは妻、家族、両親は勿論、多くの人びとに負って来ている。これからも多くの人たちに御迷惑、お世話になる事だろう？ 自主独立とは行かないなあ---？ 鹿児島県の知覧特攻基地の兵舎跡を訪ね、少年飛行兵入隊直前、終戦となった時の自分を重ね合わせて、運命の采を感じずには、いられない。

大学3~4年の頃、故森禎先生から、日曜学校の日の夜、1~2時間 四共観福音書(マタイ伝、マルコ伝、ルカ伝、ヨハネ伝)のご講義を1対1で聴いた。

新約聖書： コリント前書 13章

“たとえ我財産をことごとく施し、又わが体を焼かるる為^{わた}に付すとも、愛なくば我に益なし。愛は寛容にして慈悲あり。愛は妬まず、愛^{たがひ}は誇らず、驕らず、非礼を行はず、己の利を求めず、憤ほらず、人の悪を念はず、不義を喜ばずして、真理(まこと)の喜ぶところを喜び、凡そ事忍び、おほよそ事信

じ、おほよそ事望み、おほよそ事耐ふるなり。----- げに信仰と希望（のぞみ）と愛と此の三つのものは限りなく存（のこ）らん、而して其のうち最も大なるは愛なり”

「水城中学での教育実習のとき、生徒達に読み聞かせた、記憶あり

1951/10/20：3年1組

此の章句は、私の生きる^{みちしるべ}道標の1つではある。

（2006/8/20 記）

明治維新・祖父の生涯

税所 裕（昭28 学金）



父は入夫して税所姓を名乗ったが元は肥田木姓である。肥田木家は日向の豪族で伊東家に属し南九州で島津家と覇を争ったが、16 世紀後半軍門に降り以後島津家の家臣となる。

祖父肥田木盛安は天保14年（1843）薩摩藩士の長男として生まれ、長じて薩摩示現流の使い手といわれた。

慶応4年（1868）1月鳥羽伏見の戦いを機に起こった戊辰戦争は、2月大総督有栖川宮熾仁親王・参謀西郷隆盛が江戸征討軍（22 藩総勢5万）を率いて東征。4月江戸高輪で勝海舟と談判し江戸無血開城を成し遂げた。

越えて8月6日、西郷は薩軍主力を率いて北越に向かった。肥田木盛安は後発の薩摩藩私領四番隊（軍監中村半次郎後の陸軍少将桐野利秋）の一員として8月23日輸送船で鹿児島港を出発、26日新潟港に上陸、新発田を経て9月6日米沢に入り、10日東山を越えて青木村に到着。直ちに奥羽列藩同盟最後の拠点会津若松鶴ヶ城総攻撃に加わる。諸藩連合軍と共に連続戦闘すること7日、16日開城交渉の結果、会津藩主松平容保が自ら降礼をとり寺に謹慎、家臣将兵は城と兵器を明け渡す事で合意が成立。9月22日鶴ヶ城大手門広場で開城式が行われた。官軍代表は中村半次郎が勤めた。

翌年5月箱館五稜郭に拠った榎本武揚が降伏し、戊辰戦争は終結した。

肥田木盛安は10月若松を出発、江戸を経て大阪から海路をとり、12月15日鹿児島に帰った。翌年2月、盛安は論功行賞により吉野村溜池の畑、山林を受領した。

会津藩では、藩主松平容保が維新後日光東照宮の宮司となり生涯を終えた。生き残った会津藩士は、維新政府や陸海軍での栄達は禁じられたが新設の警視庁や北海道屯田兵に志願する事で活路を見出し、やがて10年後の西南の役で警察旅団や屯田兵で編成された別動第一旅団の一員となり、曾て郷里を踏み躪った薩摩軍の将兵に屍山血河の勇猛振りを発揮して戦いを挑むことにな

る。

明治6年(1873)10月、征韓論に敗れて下野した西郷隆盛は、翌7年桐野利秋、篠原国幹らと士族統率の為私学校を設立した。

新政府は戊辰戦争後、明治2年6月版籍奉還、明治4年7月廃藩置県、8月藩兵を解散させ鎮台を設置、明治6年1月徴兵令を布告して国民皆兵の軍制を打ち出した。旧習を破る矢継ぎ早の変化に理解が追い付かず、自分の進退や将来に不安を抱き始めた士族が新政府の政策に不満を募らせ、明治7年2月佐賀の乱、明治9年10月に熊本神風連の乱、福岡秋月の乱、山口萩の乱と不平士族の反乱が続き九州一帯に不穏な空気が漲った。

明治10年1月鹿児島では私学校を中心に県下の士族が西郷を擁して反乱を起こした。2月西郷は政府詰問を名目として私学校兵1万3千を率いて鹿児島を発ち熊本に向かった。西郷出陣の報を受けた新政府は2月19日征討令を発布、有栖川宮熾仁親王を征討総督に、征討参軍に山縣有朋、川村純義を任命し、官軍総勢約4万人、海軍軍艦11隻を投入した。

肥田木盛安は時に33歳、薩軍の班隊長を勤め抜刀隊を指揮した。盛安は三男一女の長男、次男弥七郎は兄と共に参戦。三男盛延は早くから軍人を志し、陸軍教導団(明治元年創設)に入り少尉試補を経て少尉に任官し、この戦では政府軍の先鋒小隊を指揮していた。

最大の激戦が展開された田原坂の戦は昼夜の別なく続き、官軍が使った小銃弾は1日平均32万発、大砲弾千発と伝えている。

3月20日、盛延の所属中隊は官軍主力の前軍となり、払曉の豪雨の中、警戒の薄れた薩軍陣地を抜き、3月4日以来17昼夜連続で戦闘が続いた田原坂の突破に成功した。この襲撃中、火力に勝る官軍に抜刀攻撃を挑んだ薩軍抜刀隊長盛安は、弾雨の中白刃をかざして突進中、貫通銃創を受けて倒れ後送された。折りしも進撃してきた官軍先鋒の小隊長肥田木盛延は、奇しくもこの状況を目撃している。

田原坂の戦に破れた薩軍は熊本城攻略戦から撤退し4月入吉に退いた後、官軍の追撃を受けつつ宮崎県内を転戦、9月1日西郷隆盛は漸く鹿児島に帰り着き城山に拠ったが、官軍に包囲され、24日自刃。時に51歳。以後、士族の武力による反政府運動は絶えた。

肥田木盛安は創を負って鹿児島に後送、治療中に城山が落ちた。10月、盛安は九州臨時裁判所出張所調べに於いて「班隊長トナリ下ヲ指揮シ官兵ニ抵抗スル者、兵器ヲ衆ヲ聚メ官兵ニ抵抗スルニ従、懲役十年ノ処情状ヲ酌量シ除族ノ上懲役1年(〜無罪、自宅蟄居)」の判決を受けた。盛安は鹿児島、清水町の宅に蟄居し以後一切の官職につかなかった。

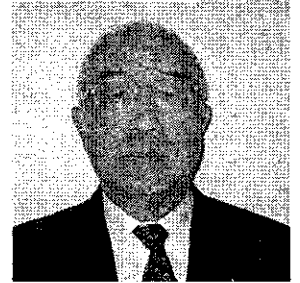
明治18年、盛安は一家をあげて戊辰戦争の行賞地吉野村溜池に移住した。賊軍の敗戦兵である。晩年は恵まれた生活とは言えなかった。それでも九男二女(父は八男明治21年生まれ)、11人の子を育て、明治31年3月家族に看取られながら54歳の生涯を閉じた。

以上

短大回想

山形俊一郎（昭33短電）

茨城大学工業短期大学部（通称：茨短大）が、昭和33年に開学してから51年になる。私はその第1期に入学したのですが、振り返ると、最も大切な青春という宝物の時代でもありました。



1. 開学の経緯

創設の機運は昭和26年9月茨城県高等学校校長会が、県教育委員会と茨城大学学長あてに、短期大学設置の要望書を提出し、昭和27年3月茨城県議会は「設置を要望する旨の決議」を採択し、設立の機運が醸成したのである。その後地元有志と「工業短期大学設立委員会」を結成し、高嶋日立市長を会長に、名誉会長に友末茨城県知事を選出した。

大学も並行して準備を進め、27年10月設置許可申請書を文部省に提出した。しかし28年1月、29年1月も認可されず、29年6月の第22回国会でやっと工業短期大学部の設置が決定した。

30年（1955）7月1日学校設置法の改正により、茨城大学工業短期大学部が、茨城大学に正式に併設されることになった。東龍太郎茨城大学学長が、最初の短期大学部学長になり、初代主事に都崎雅之助工学部長が併任されました。「修行年限は夜間3年、学科は機械科および電気科の2学科で、入学定員は各40名計80名でありました。」

2. 入試・入学式・授業開始

7月上旬入学試験が実施され、科目は英語・数学・理科の三教科であった。

入学志望者は167名、合格者は定員40名にも係わらず、機械科・電気科とも49名計98名であった。7月15日入学式が挙行され、7月18日より夏休み返上の授業開始となりました。

先生は工学部との併任、教室・実験室・体育館・製図室などは、工学部の借用で、専用の校舎が出来上がるのは、後の話である。

学生は98名のうち73名（74%）が有職者であり、年齢も18歳から40歳まで、22歳も幅のあるクラス構成で、なかには妻帯・子供のいる学生もいたし、小学校の先生も二人在学していた。日立製作所の研究所・工場に勤務する者が50%を占め、勤勉だし優秀な学生が多かった。

3. 授業

私は工高で建築を学び、日立市役所に勤務していたが、勉学の機会到来と

電気科を志望し合格した。教室に入ると目が爛爛と輝き勉学にいそしんだ・・・と言いたいところだが、空腹と昼間の疲れによる睡魔との闘いでもあった。

都崎主事の要望で、普通高校卒業者と工高卒業者の学力差を考慮して、一般教育の学科課程で工高卒業者には、特に英語・数学・物理・化学の履修が、18単位多く義務づけられた。

授業によっては、未だ適切な教科書が無く、先生手作りのガリ版刷りのプリントを配布して、行われる事もありました。授業を休むとプリントが貰えず、授業内容が不明になり、友人のプリントを借りて、写すこともありました。現在のコピー機やプリンターの有る時代とは隔世の感があります。

当時、暖房は石炭ストーブで、先に来た者からストーブの周りに座り、後から来た者は授業中も外套を着て寒さに震える始末でした。

授業は、17:30～20:40まで3時限で、終わると学校から常陸多賀駅まで、暗い砂利道を三々五々歌を歌いながら歩いたものです。

当時の授業料は前期・後期2,400円計4,800円で、月給を5,800円ほど貰っていた私にとっては、大した負担ではなく、安い学費で学べる有難さを感じておりました。

日曜日は、専ら実験のレポート書きと製図や椎名先生の「キュウリー夫人伝」の和訳に費やしたのを記憶しております。

4. 卒業

33年3月19日第1回卒業式が挙行されました。3年間で目出度く卒業したのは、98名中71名(72%)で、20名の方が、退学・除籍になっており、4年以上かかって7名が卒業しております。転勤や仕事の為出席時間不足で、期末試験資格が無いため、単位が未取得という方が多かった。如何に勤労しながら学ぶという事が、初志と異なり大変なことだったかが判る。

私はやはり建築がやりたくて、新卒の資格で、大手建設会社を志望して採用され、建築設備部門(電気・空調・衛生・運搬機)の設計や施工で、更に営業で46年間勤務し、各地に「地図に残る仕事」を建設することが出来ました。

5. その後

工業化学科が昭和41年、電子工学科が44年に増設されましたが、平成5年3月に閉学になるまで、37年間の卒業生は3005名であった。(因みに工専卒業生は3184名)

閉学の原因は、創設時の中学・工高卒の有職者に、更に高度の技術を習得させ、中堅技術者を目指した目的も、日本の繁栄と共に豊になり、高校生も4年生大学・大学院を目指すようになり、又受け入れる大学も増え、夜間の短期大学で勤務しながら学ぶという学生の減少によるものであります。

植田先生を偲んで

芝山佑芳（昭34学原）



昭和34年に原動工学科を卒業し第三の人生(会社勤めは終り)に入るまで45年間一貫して火力発電、特に発電用貫流型、ドラム型ボイラ(石炭、重油焚き)流動床ボイラ(製紙汚泥、タイヤ混焼、石炭焼き)の設計が主な業務で、色々な問題に遭遇し苦勞したが、今ふと懐かしく思い出すのは多賀での学生時代です。

当時、若手の助教授として植田昭先生はボイラ、伝熱工学を講義し、特に伝熱の教科書として「AN INTRODUCTION TO HEAT TRANSFER (OXFORD)」を用いての講義は新鮮ではあったが当時の小生にはこの本の価値が理解できず実務について再度学び大変役に立った。卒業研究は秋山光庸君(栃木県支部副支部長;宇都宮大学工学部名誉教授)と植田先生の指導のもとにテーマは「沸騰を伴う熱伝達」で熱伝達の計算式について研究をまとめ秋山君が発表した。当時は我々の斬新な研究テーマは未知の分野で種々の批判を古参の教授から受けたことを懐かしく思い出します。小生がボイラ関連に就職したのも植田先生の影響が大いに有ったと思っています。

植田先生は教授陣では若い方で我々若者ととともにテニス、サッカー等をなされ常に日焼けした顔が印象的でした。特に学園祭でのサッカー大会で優勝した際には大変喜んでくれました。その時の写真(当時の運動場で)のメンバーを懐かしく見ると先生の右側に主将の磯崎公郎君(日立総合支部支部長;茨城電気工業(株)社長)がにこやかに座っている。休日に秋山、磯崎君達と水戸の自宅に招待され奥様ともどもの歓迎を受けたことが若き日の思い出となりました。卒業後、暫く立ってから秋山君から植田先生が成蹊大学工学部に移られ工学部長に就任されたと知らせを受けた。平成3年8月31に東條会館で成蹊、茨城大学両工学部の卒業生合同で植田先生の還暦の宴を開催し、記念品としてテニスのラケットを贈った際奥様の嬉しそうな顔が印象的でした。

植田先生は成蹊大学に移られた後も多賀工業会に関心を持たれ東京支部では第17回総会(平成9年9月27日)で「ネパールにて思うこと;ネパール国立大学教授」のテーマで講演された。千葉支部では史跡・万歩会バス旅行(第17回;平成12年7月9日)に奥様共々参加くだされ久留里城—大多喜城—笹森観音と会員とともに



1日楽しく過ごされた。当日は俳句吟行と合同でしたので下記の俳句を投稿し初入賞しました。

「雨城坂 師の白髪に汗光る」

師とは槌田先生のことです。昨日の事のように思い出しますがこのバス旅行が槌田先生とお会いした最後に成りました。

パソコン・酒・料理の雑談

佐藤 栄一 (昭 37 学電)

パソコン編

パソコンで Save Money(待機電力をカット)

リモコン付きの電気製品はリモコンで起動する為、待機電力が必要です。リモコンの無いパソコンでもやはり待機電力が必要です。デスクトップ型の場合、パソコン本体とモニタで大体 5W です。これはパソコンの基本規格(詳しい説明は省略)です。「Save Money」するには、電源を切ったあと壁のコンセントから電源ケーブルを抜く事です。勿論スイッチ付きのテーブルタップを使った方がもっと楽です。

ちなみに、一日平均パソコンを 4 時間(あと 20 時間は待機電力を消費)使うと、一月間の全待機電力は $5(W) \times 20(\text{時間}) \times 30(\text{日}) = 3000W(3kWh)$ となります。

どんなパソコンを買えば良いですか？

一番答えに窮する質問です。最初にデスクトップ(据置きタイプ)かノートパソコンかを確認します。基本性能はメーカー製でもショップオリジナル(例えばコジマ電器特製?)でもほぼ同じですので、始めての方にはメーカー製のワード/エクセル付きで下から 2 番目の価格のパソコンを推奨しています。テレビ機能は地上波デジタル放送の関係もあり不要と思っています。予算に余裕があれば 17 型のモニタがお勧めです。

以下は購入時の予備知識までに

CPU	秋葉原の単体価格は 6 千円から 10 万円まであります。もちろん高価な CPU が一番ですがテレビの録画は、現在は 8 千円位の安いのも充分です。
メモリ	256MB で一応 OK ですが 512MB あった方がベターです。あとで簡単に追加も出来ますが、増設しても普通体感速度は上がりません。
HDD	最低でも 40GB はあるはず。デジカメの写真データ等を保存するのなら、外付けの HDD を必要時に購入した方が安上がりです。



モニタ	15 型でも充分ですが予算に余裕があれば 17 型のほうがベターです。「大は小を兼ねる」位の差と考えてください。
ソフト	“ワード”と“エクセル”は必需品。後から入れるのは結構大変。
プリンタ	2 万円前後の物で充分です。値段はやや高め(3~4 千円)ですがコピー機能のついた複合機もお勧めです。パソコンとは無関係にコピーが出来ます。インクの性能と補充インクのコストを考えるとエプソンかキャノンが無難です。

パソコンとテレビ

最近のテレビ機能付きのパソコンは録画も出来る上、テレビにパソコンが付属しているようなデザインもありますが、独身者が狭い部屋で使う場合を除き、やはり「帯に短したすきに長し」です。理由は独断と偏見で言えば

- ・ テレビをすぐに見る事が出来ない。(原理的にパソコンが動くまで数分待たされる。一見もっと早くテレビが ON となる細工も可能ですが)
- ・ 中途半端。(誰かがテレビを見ていたらパソコンはダメ。画面分割で同時使用も可能ですが)
- ・ テレビを見ているとき、パソコンの電気代(約 150W)が無駄。
- ・ パソコンが壊れたらテレビもダメ。
- ・ 良い点はパソコンを使わなくなっても粗大ゴミにならない。(?)

酒編

飲み屋と居酒屋(どちらが高級?)

私は飲み屋より居酒屋の方が高級と思っていましたが、広辞苑によると
 飲み屋 主に酒を飲ませる飲食店。小料理屋・居酒屋などにいう。

居酒屋 店先で酒を飲ませる酒屋。また安く酒を飲ませる店。

と書いてあり、飲み屋のほうが高級な感じです。

ちなみに小料理屋は「小料理と酒を出す和風の店」でした。

旨い飲み屋の探し方(貧乏人の探し方。予算のある人はフレンチでワインでも)

初めての土地で美味しい店を探すにはいくつかの方法があります。

- ・ 情報誌(るるぶ等) 高めで、地元の人が少ないことが多い。
- ・ 宿の人に聞く スナックは安心。飲み屋は?が多い。
- ・ 自分で探す 7 時頃飲み屋街を 2 周し、一番込んでいる店に入る。
 入った店で隣の人にお勧めの料理を聞く。
- ・ 居酒屋チェーン店 行き付けのチェーン店。外れは少ないが地元料理は
 大抵無理。
- ・ 中華料理店 4 人以上なら大きめの中華料理店。料理は 1 人当り
 1.5 皿。酒はビールから紹興酒(暖める)がお勧め。

酒は水割り？(アルコールの度(%))数

殆どの酒は度数調整のため水(割り水)を加えてあります。25 度の焼酎は大体 3 分の 1 が割り水です。当然 35 度の方が高価です。ちなみに 15 度の日本酒は大体 8%の割り水です。

ウィスキーのプルーフ (proof) と度数の関係は

アルコール度数を表示する単位です。

英国式：プルーフ＝度数× 1. 75 (105 プルーフ＝60 度)

米国式：プルーフ＝度数× 2 (100 プルーフ＝50 度)

産地限定の焼酎と泡盛

まず泡盛では、ウォッカに匹敵する度数を誇る幻(?)の「花酒」です。これは沖縄の与那国島特産で度数は 60 度あります。酒税法で泡盛は 45 度までなので花酒と呼ばれています。昔は沖縄でも中々入手できませんでしたが、最近は那覇空港でも売っていますし、東京でも入手できるようです。720ml で 3000 円位です。機会があれば是非飲んでみてください。中々旨いお酒です。勿論好みもあるでしょうが。

次は黒糖焼酎です。これは奄美群島でのみ製造が許可されている焼酎です。酒税法上糖を使うと焼酎と呼べない(酒税が上がる)のですが、本上復帰の時に奄美の地場産業保護の為、特例で焼酎とされました。大きな酒屋では置いてあります。香が割りとフルーティで飲みやすいと思います。

紹興酒について

中華料理にはやはり紹興酒が合います。飲み方は日本では、温めたものを氷砂糖の入ったグラスに注ぐ方法が一般的ですが、中国ではそのままか、汁い干し梅を入れるようです。私は日本式が好きなので、中国では紙と鉛筆で説明し大変苦労しました。

紹興酒は中国浙江省が本場ですが、台湾の紹興酒の方が味はマイルド(淡麗)で、私の好みです。ただ、最近はほとんど中国産で酒屋での入手は困難です。横浜の中華街に行けば購入できるかもと考えていますが、中々チャンスがありません。

料理編 (男も出来る簡単レシピ)

簡単湯豆腐(別名チン豆腐)

単に豆腐を電子レンジで「チン」するだけ。ある飲み屋のメニューです。

・材料(一人前)

豆腐：4 分の 1 / めんつゆ：市販の濃縮タイプ大さじ 1 杯 / 削り節：少々

薬味：好みで

- ・豆腐を厚さ 2～3cm に切り小皿にのせ、めんつゆをかける。
 - ・電子レンジで約 40 秒。(湯気がある程度出るまで)
 - ・削り節と薬味をかける。
- ポイント：最初は湯気が相当出るまでの時間を確認すると良い。

10 分で作るゆで卵

- 普通 15 分かかるゆで卵が 10 分で出来ます。5 分で半熟卵。
- ・ふたの出来る小鍋に卵(1 個～2 個)と水 150cc を入れ、ふたをする。
 - ・30 秒位強火のあと、やや強めの弱火に。
 - ・キッチンタイマを 10 分でスタート。10 分後すぐ冷やす。
- ポイント：空焚き防止のため必ずタイマをセットしてください。

ポテトサラダ(私が作って 30 分)

市販品とは一味違った味。

材料

ジャガイモ：中型 2 個／キュウリ：中型 1/2 本／人参：1/4 本
 玉葱：中型 1/2 個／マヨネーズ：約 100 g (入れながら好みで調整する)
 和風だしの素(顆粒)：小匙 3～4 杯／胡椒(粗引き)：少々

下拵え

- ・ジャガイモ 水で表面の泥を落としてから、個々にラップで包む。
電子レンジで 5 分加熱後、4 つに切って皮を剥く。
(竹串が中まで通らない時は後 2 分加熱し、確認する)
- ・キュウリ 薄く輪切りにする。塩水にさらし、紙タオルで水気を良く取る。
- ・人参 短冊に切り、軽く茹でる。水にさらし、紙タオルで水気を良く取る。
- ・玉葱 縦に 4 等分。皮を取り、根を斜めに切り落とす。縦にスライスする。

調理

- ・大き目のボール(またはどんぶり等)にジャガイモを入れ、ヘラで半分位つぶす。(ジャガイモの塊を半分位残す事)
- ・残りの野菜を入れ、だしの素と胡椒(5～6 振り)を振り掛ける。
- ・マヨネーズを 80 g 位入れて良くまぜる。後は好みで調整する。
(好みで酢を少々入れても良い)

コメント：キュウリと人参はいろいろ。キュウリはグリーンピースでも。

「紺碧の空に円を（あるサンデー・フライヤの戯事）」

望月 晴雄（昭40 学卒）

某年秋。

管制塔からの許可を貰って、スロットルをやや押込んでプロペラの回転を上げ、両足で踏ん張っているブレーキペダルを緩めて、駐機場を離れ、滑走路に平行する誘導路をゆるゆると進む。本来、直進すべき我がセスナ機は、千鳥足ながらも何とかセンターラインをキープしつつ、滑走路端をめざす。たった今着陸し、誘導路に向かいつつあるパイロットが、笑顔で軽く手を上げて挨拶するのに、イッチョ前に手を振り返す。



誘導路端の停止線上で、副操縦士席のインストラクタが、離陸前の最終チェックをしているのを横目で見ながら、管制塔の離陸許可を待つ。

いよいよ離陸!! 普段は、500 人乗りのジャンボジェット機が離発着する、サイパン国際空港の 4 千メートル滑走路に進入し、一端停止。ブレーキペダルを踏込み、スロットルを一杯に押込むと、エンジンはフル回転に。機体が振動に震える。目の前には、滑走路のセンターラインがどこまでも続く。ブレーキを解除し、センターライン上を速度を上げながら、滑走開始。速度計が 60 ノットを指した時、操縦桿を一拳分引くと、若干の時間差をもって、フワッと空中へ。前方の地平線を睨みながら、高度 1.5 千フィートを目指し、徐々に上昇。

20 分後、名門ゴルフ場を借り切ったゴルフ気分で、4 千メートル滑走路を独り占めし、その隅っこに着陸。やっぱり、帰りも千鳥足で誘導路を進み、駐機場に到着し、初フライト無事終了。「さあ、これからは、年に一回はサイパンに来て、セスナを操縦するぞ!」の決意も新たに。

その翌年の夏。

「そろそろ、二回目のフライトに挑戦を」と計画しかかった頃、商談を終え、真っ黒く日焼けした客先の担当者と雑談中、偶然、彼がラジコンフライヤで、日焼けの原因が、炎天下での飛行機飛ばしである事を知る。実機の操縦にこだわり、模型飛行機なんか、と高を括ったが、彼との出会いは、貴重なきっかけを準備してくれた。男なら誰しも、子供の頃、一度ならず、模型飛行機に大空へのロマンを掻き立てられ、竹ヒゴを火に炙って、曲げて翼を作り、紙を貼り、手投げやゴム動力で飛ばした経験があろうが、図らずも、彼との会話に、心の奥にしまい忘れていた、昔の夢が、呼び覚まされたのである。「そうだ、実機もいいけど、ラジコンだって似たようなものだ。飛ばす事に変わりはない、それに、いつでも飛ばせるし。」かくして、人生 53 年目にして、ようやく、趣味らしい趣味が始まることになる。

ご存知の通り、ラジコンと云っても範囲が広く、'ピン'は、敵陣偵察機、農業散布用ヘリコプタ、はたまた月面探査機等から、'キリ'は、種々の玩具まである。今のところ、これらの中間にあるロボットだが、すでに、猛烈な勢いで、実用化を目指しての研究開発が進んでおり、鉄腕アトムの出現も、時間の問題かもしれない。

'キリ'に、少しばかり毛が生えたジャンルでは、水中、水上、陸上、上空とあらゆる空間を利用するが、愛好者が多いのは陸上で、それに比べると、上空はマイナーな分野である。空には、飛行機の他に、グライダー、ヘリコプタ、パラグライダー等が飛ぶ。ラジコン飛行機は、トレーナー機、スケールモデル機、スタント機、アクロバチック機等に分類される。機体は、個人の好みにより、バルサ・キットから組立てる自作、イージーオーダー、オーダーメイドとさまざまで、動力も、ゴム、電動モーター、グロー(焼き玉)エンジン、ガソリンエンジン、ジェットエンジンと、幅が広い。勿論、グライダーのように、原則として動力を使わず、上昇気流だけを頼りとするものもある。多く使われているグローエンジンの排気量は、1cc から 20cc である。ラジコンショップで入手できる燃料は、メチルアルコール、ニトロメタン及び合成潤滑剤の混合で、排気ガスに、昔懐かしいひまし油の臭いはない。

機体には、エンジン、燃料タンクの他に、受信器・バッテリーと共に、昇降舵、方向舵、補助翼、スロットルなどを、個別に動かすサーボモータが搭載されており、操縦者が持つ、送信機でコントロールされる。

こうして書いてくると、「ラジコンは、一人で楽しめそうなおもちゃの世界」と思われる輩もおられようが、ことラジコン飛行機に関しては、そう簡単には、問屋が卸してくれなかった。一步間違えば、凶器と化す危険性が多分にあるので、飛ばすには、それなりの気苦労がある。安全管理はもとより、パイロットの技量とモラル、整備知識等、実機の場合と同様の配慮が欠かせず、油断をすると、回転するプロペラに触れ、自ら怪我をする事もある。さらには、いつでもどこでも飛ばせる、と云う甘いものでもなかった。同好の志、二十数名で草を刈込み、整地、排水工事をして、滑走路を開拓、国上交通省の法的な許認可制度はないものの、平日は飛行禁止の条件の下での届け出。電波法で認められている、上空用ラジコンの数少ない周波数帯の、混信回避の為の、他のラジコンクラブとの話し合い。近隣住民との協調。万一の場合に備えての、傷害保険加入等々、労力を惜しむ事は、許されない。

そして、今夏の、ある日曜日。

朝 8 時半、一週間前の大雨による冠水で、滑走路が傷めつけられたのをものともせず、利根川河川敷の飛行場には、当番で草刈りに精を出す 8 人の仲間の姿がある。一時間後、整備が終わった滑走路脇の駐機場で、二週間振りのフライトの準備に入る。

幅 1.5 メートルの主翼と、長さ 1.1 メートルの胴体を、ボルトで止め、排気量 4cc の単気筒 2 サイクルグローエンジンを搭載した、重量 1.7kg の尾輪式低翼トレーナー機の、150cc タンクを満タンにする。周波数 72.810MHz が、空いているのを確認してから、送・受信機のスイッチを入れ、送信機の 2 本のスティックを前後左右に動かし、各舵が、正常に動くのをチェックする。エンジンシリンダに燃料を送り込むニードルを開け、チョークしたら、点火プラグをヒートし、スタータでエンジンを始動する。吹流しで風向きを見定め、機体を小脇に抱えて、風下の滑走路端まで運び、離陸スタンバイ。目の前には、幅 15 メートル、長さ 90 メートルの滑走路が広がり、その延長線上には、高さ 100 メートルの鉄塔と利根川を跨ぐ高圧送電線が立ちはだかる。

機体の後方に立ち、あらためて、送信機のスティックを動かし、各舵の正常な動きを確かめた後、右スティックを前方に目一杯押し、ハイパワーに。動き出した機体は、徐々に速度を増しながら、刈り込んだ雑草に脚を取られながらも、風上に向かって、まっすぐ滑走を続ける。十分加速したところで、左スティックをわずかに手前に引くと、総重量 1.7kg の機体は、ファッと空中へ。遠くに行き過ぎ、機体が見えなくなる前に、右スティックを僅かに右側に倒し、右旋回。河川敷上空を 10 分間、水平・背面・宙返り・ロールと、自由に飛行した愛機(これが実機ならば、いかに優秀な戦闘機乗りと言えども、失神していること間違いなし!!)は、燃料切れになる前に、スロットルを絞り、速度を落としてのファイナルアプローチ、着陸態勢に入る。

当たり前ではあるが、飛行機なるものは、地面を一旦離れたが最後、行先不明になったとか、故障したからとか云って、地上を移動する自動車のように止まって、助太刀を待って、再び動き出すというわけにはいかない。空中で停止する事なく、地上に戻さなくてはならない。それが、スムーズに接地する着陸であろうと、地面に激突する墜落であろうと、利根川に着水する不時着であろうと。正確な予測と判断、そして素早い決断と実行が要求される。そんな緊張の中、高度を徐々に下げ、地上すれすれに、滑走路に無事タッチダウン、と思いきや、雑草に脚をとられ、どんでん返し一步手前の、つんのめりでのスペシャル着陸。



さて、タイトルの「紺碧の空に円を」だが、白い雲が浮かぶ青空に、大きな、真ん丸い円を描きながら飛ばすのが、10 年来の夢であるが、これが意外と難しい。今だ為し得ず、いつも風のせいだと言い訳しつつ、草刈りに汗水たらしながら、自然を遊び相手に戯れている昨今である。

アウトドアな趣味

高橋利男 (昭 46 学化)

学校を卒業し日立を離れて早 35 年が過ぎました。会社員生活は安定? のまま定年の 60 歳がまじかとなりました。そこで今までの趣味とか楽しみとかを振り返ってみますと結構出てきました。

そのひとつとしてカヤックがあります。同好の者が集まりクラブのような烏合の衆のようなものですが、年間計画を立て遊び回っています。活動フィールドは海川湖ということになります。

最初の頃は那珂川を烏山から御前山まで弁当とビールを持って下りました。この頃は日曜日に検見川の浜で浮かんでいます。自然の中のツーリングも気持ちのいいものですが生活の場の近辺たとえば浦安の境川、佐原近辺の水路、花見川(新川)等に非常に興味を持っています。

遠征では春の矢木沢ダム、秋の奥松島となります。矢木沢は源流の沢に上がって残雪をかき分けテントを張ります。以前秋の矢木沢へ行った時には台風に会い、テントを張った沢筋を烈風が通り抜け一晩中テントを抑えていました。また今年の矢木沢は残雪が多くてダム湖の航路も制限され、いつもの沢は上陸禁止でした。あとは房総の海でキャンプをしながら楽しんでいます。



しかし冬になると水の上は寒いのでスキーに切り替えます。スキーといっても、テレマークスキーといって踵を固定しないスキーで、坂を登ることも出来ます。つまりこの道具でクロスカントリーもゲレンデも出来るようになっています。クロスカントリーはスタート時非常に寒く震えています。スタート 5 分で汗まみれとなります。フィールドは日光戦場ヶ原、塩原ハンターマウンテンスキー場、鬼怒川高原 CC あたりです。弁当とお茶をもって音のない雪原をフラフラするのも結構いいものです。

こんな遊びをしている人で面白いフィールドを知っていたらご紹介ください。宜しく願いいたします。

まだ体のきくうちはこの遊びを続けていきながら、体力のあまり必要のない楽しみを見つけたいと思います。それまで子供が巣立ったあとは家内とふたりでのんびりキャンプでもしていこうと思っています。貴重な紙面に遊びの話ばかりで申し訳ありません。

ミカン星人的趣味

金坂 潤 (昭47学電)



パソコンの壁紙にミカン星人というものがあって、ミカンに顔と手足がついていた異星人、しかしよく考えると本当は未完成人だろうと思う。まさに自分の趣味というか生き方かもしれない。なぜなら、首尾一貫して通してきた趣味はない、中途放棄の連続ばかり。就職後は、小学生の頃あまりできなかったプラモデル作りでクラシックカーを何台か作った。絵を描くことも手を出したが、暇がなくなって挫折。

他には読書が趣味と人には言っていた。大衆文芸もので石坂洋二郎や星新一、吉川栄治の「宮本武蔵」、「三国志」などから中国の「史記」に惹かれ、「嵐が丘」の狂気を見直し、最近では藤沢周平の時代劇ものに落ちついた。

派閥争いに翻弄される人々など現代のサラリーマンに当てはまるような筋書きと痛快なヒーローの活躍に痺れる。これも忙しい日常に活字離れとなり、気楽なファンタジー絵本集めに移った。中原淳一の可憐な少女画から雑誌「ひまわり」のコレクションに走り、華宵、伊藤彦造の挿絵にも興味があったが中途のまま、映画に関心が移った。NHKのBS放送で昔の映画の放送を始めたからだ。昭和30年代前後の映画で、吉永小百合の「キューポラのある街」から、裕次郎ものにはまり、美空ひばりの時代劇、すべてテレビからビデオ録画して暇なときに観る方式。

映画は子供頃に劇場やテレビでみた「二人のロッセ」とかなにか非常に悲しかった三益愛子?の「母もの」などをもう一度見たいという熱望から始まっているが、「青い山脈」の原節子、「二十四の瞳」の高峰秀子に憧れ、小津安二郎の「東京物語」や彼の女優が出演する映画に熱中し、黒澤明の「素晴らしき日曜日」、「生きる」や「赤ひげ」に涙した。勿論「7人の侍」なども。これも仕事の忙しさに録画したビデオテープのストックを抱えて挫折。

今は、偶然テレビで見たフォークソング系歌手のCDを聞くことくらい。何故か熱唱する姿勢が気に入って、東京公演も何度か行ったが、彼女の本拠地である高知でのライブにも2度行った。

そして今、若いときに親しんだ自転車乗りを再び始めた。あの颯爽と風を切って走る爽快さをまた味わってみたい一心で。

他の人からは無駄なことでも、本人にはストレス解消だから気の向くままに次から次に手を出している。さらに深めて楽しみを追及し続けるなどとはいかない。ただ利他的に気持ちのいいところの上澄みをなめているだけの楽しみかも知れない。飽きやすいところもあってミカン星人的趣味だが、まあ、あまり深く考えずに、いいじゃないか幸せならばで、今後もゴーゴーマイウェイです。

米国ニューイングランドから

沼倉研史（昭48院化）



アメリカのニューイングランドで仕事をするようになってもう8年になります。ニューイングランドというのは、米国北東部のマサチューセッツ、メイン、ニューハンプシャー、ヴァーモント、ロードアイランド、コネチカットの6州を指しますが、この地域は様々な面で他のアメリカの地域に比べて特異性があります。単に外観が違っているというだけでなく、言葉使い、生活習慣、ビジネススタイル、住民気質などの面で、日本で一般的に知られているアメリカとはかなり違ってしています。

6州を合わせた面積が約16万km²ですから、日本の面積の半分よりやや小さいくらいのところに、約1400万人の人々が住んでいます。アメリカ全体の平均に比べれば、はるかに人口密度は高いのですが、意外な事に大きな都市はあまりありません。もっとも大きな都市がボストンですが、これも百万都市ではありません。人口が10万人を越える比較的大きな都市も20市足らずで、大部分の町（あるいは村）は1万人未満の人口しかありません。いいかえれば、人口は一極集中ではなく、小さな町々に広く分散しているわけです。それでも、多くの町は、植民地時代からの長い歴史を持っています。

その様子はダウNTOWNに入るとすぐにわかります。ほとんどの町は、19世紀のレンガ造りの町並みがあるまま残っています。また住宅地域では、多くの家は木造ですが、百年かそれ以上の年数が経ったものばかりです。日本のように町の中心が再開発のために、古い建物が取りつぶされ、新しいビル群が作られるようなことはありません。古い建築物は、多少化粧直しをすることはあっても、基本的に壊しません。不動産屋の人がいっていましたが、どんなに古くてボロな家でも、形があれば、何がしかの値が付くので、壊すことはしないそうです。私が以前に住んでいた家も1901年建設の木造家屋でした。人が住んでいれば、何年かに1度は屋根をふきかえたり、ペンキを塗り替えたりしているので、外観はそれほど古くさくありません。またこの地域の建物は昔から地下室があるので、そこに新しいユーティリティ設備を設置して、たいていはセントラルヒーティングになっています。冬は結構寒いので、窓はほとんどアルミサッシの二重構造のものに取り替えられています。このような新しいものが取付けられということのことを想定していたのではないでしょうが、基本構造にそれだけ余裕があるということでしょう。

市役所、学校、警察、消防、病院、というような公共の建物の多くも100年以上も前に建てられたものを、手直ししながら使っています。ここに掲げた最初写真は、私が住んでいるヘイビルという町を横切って流れるメリマッ

ク川です。秋の紅葉の中に見えるレンガ造りビルの多くは 19 世紀末の建築です。左岸の一番目立つ建物は消防署です。2 番目の写真はダウンタウンの様子です。この町は 1880 年代初期に大規模な火災に遭い、メインストリートのほとんどを焼失してしまいました。現在の町並みは、ほとんど 1880 年代に建てられた同じような形のレンガ造りのビルで構成されています。ビルの多くは現在でも使っており、1 階がお店、2 階から上がオフィスかアパートになっています。通りには電柱も電線も出ていませんので、ほぼ 19 世紀の景観が残っているといえるでしょう。

次に掲載したのは私自身のスケッチで、近隣の町の比較的大きな建造物です。最初のもは隣のウエストニューベリーという町の市役所です。1910 年の建設の瀟洒な木造建築で、現在でも普通に使っています。また 2 番目の例は、その隣の町のニューベリーポートにあるアンナ・ジェイクス記念病院という 1880 年代初めに建設された建物です。現在では、この後ろに大きなビルができていますが、古いレンガ造りの建物も、受付や医者のオフィスとして現在でも使われています。3 番目の例は同じニューベリーポートのハイスクールです。これも 1880 年代の建設の総レンガ造りの大きな建物ですが、最近大改装を行い、外観が非常にきれいになりました。もちろん普通に学校として使っています。

私の住んでいる近くにはメリマック川という比較的大きな川がながれていますが、この川の周りはメリマックバリーと呼ばれて、18 世紀から紡績業を中心に軽工業が発展しました。当時工場用に建設された多くのレンガ造りの工場が取りつぶされることもなく、残っています。中には現在でも工場として使われているものもありますが、多くは改装して、オフィスや倉庫などに使われています。拙宅の近所にあった 1880 年代に建設された川沿いのレンガ造りの細長い帽子工場の場合は、長いこと廃屋になっていたのですが、最近デベロッパーが入り、大規模な改装を行い、きれいなアパートに生まれ変わりました。

アメリカ合衆国という国は、日本に比べてはるかに新しく、短い歴史しかありません。英国の植民地時代をいれてもわずか 400 年です。しかし、ニューイングランドは、その中でもっとも古い歴史を持っています。とにかくニューイングランドに住んでいると、建築ということへの考え方が根本的に変わってきます。こちらでは、木造といえども、100 年、200 年、あるいは半永久的に保たせることを前提に家を造ります。また使う方もそのつもりで住んでいます。不動産としての価値も下がりません。ただ、この数年、当地もちょっと不動産バブル的なところがあり、古い建物の値段がどんどん上がっています。ボストンの市内ですと、さほど大きくもない建築百年以上のアパートが 100 万ドル（1 億円強）を超えるのが当たり前になってきています。

それにしても、日本の建築物がわずか 2、30 年でスクラップ＆ビルドされるようになったのはいつごろからでしょうか。少なくとも江戸時代の末期ま

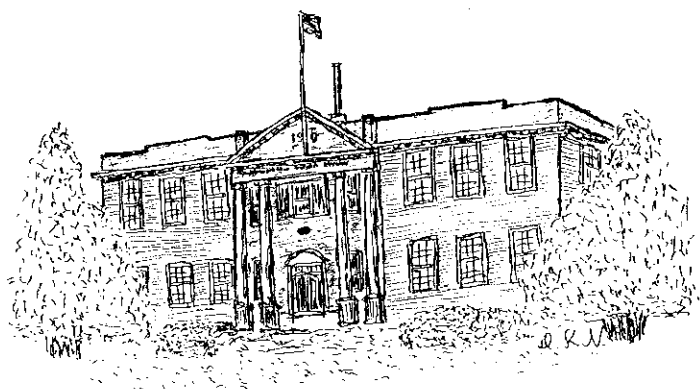
では、農家といえども 100 年、200 年単位の歴史を持った家屋が普通だったはず。現代日本の建築を設計する方々は、100 年、200 年後でも価値が存続することを想定して設計しているのでしょうか。日本で都市計画などを担当する方々には、是非ニューイングランドを見ていただきたいものだと思います。大量消費経済のお手本のようにいわれるアメリカですが、少なくともニューイングランドの建築物に関する限り、物を大切に使う省資源の生活習慣が身に付いているようです。



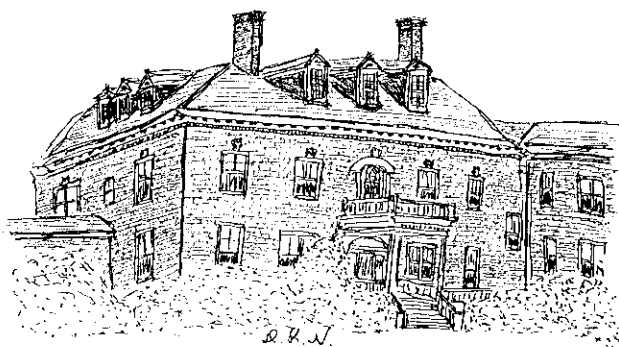
Merrimack River in Haverhill



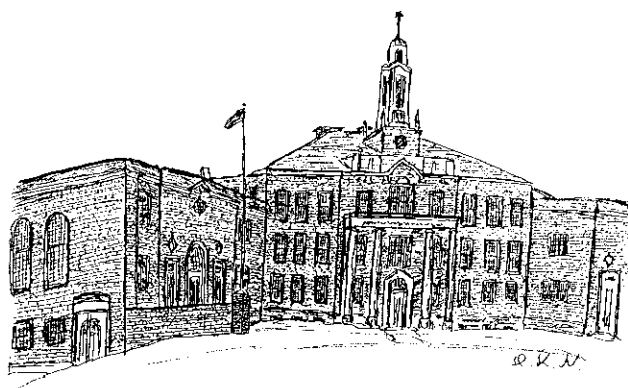
Downtown of Haverhill



City Hall of West Newbury



Anna Jaques Hospital



Newburyport High School

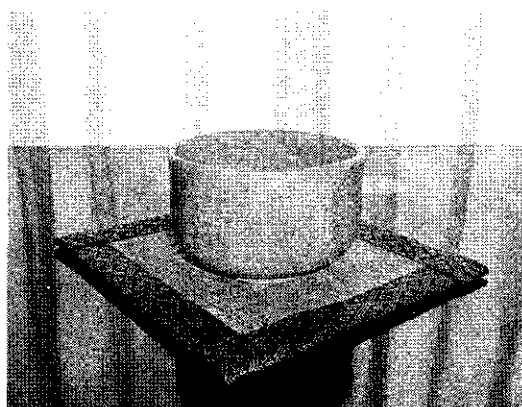
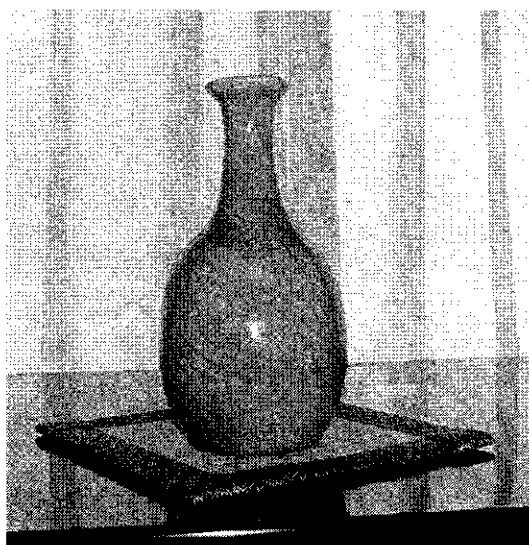
文 芸



平戸三郎の世界

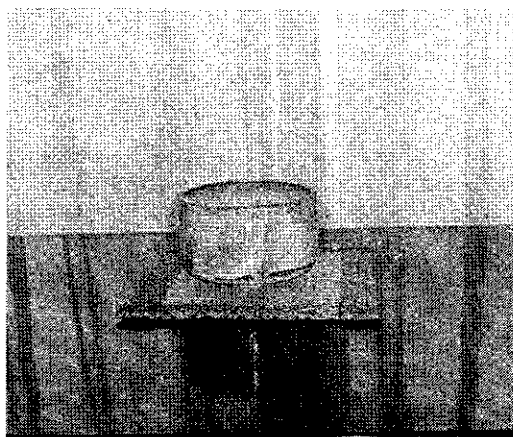
平戸三郎 (昭 31 学機)

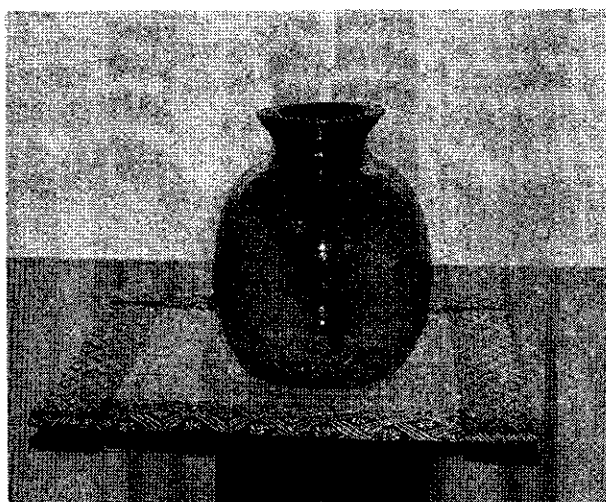
品名	一輪挿し
粘土	半磁土
焼成	還元
釉薬	青磁
寸法	
高さ(cm)	22
最大径(cm)	12



品名	抹茶椀
粘土	信楽
焼成	酸化
釉薬	石灰透明
寸法	
高さ(cm)	7
最大径(cm)	12

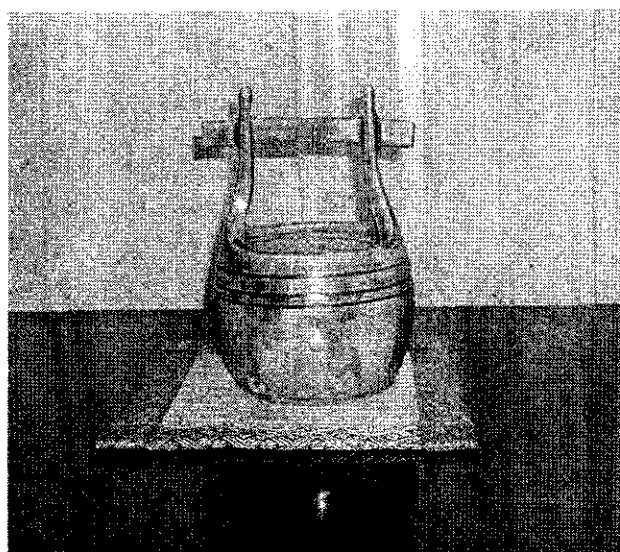
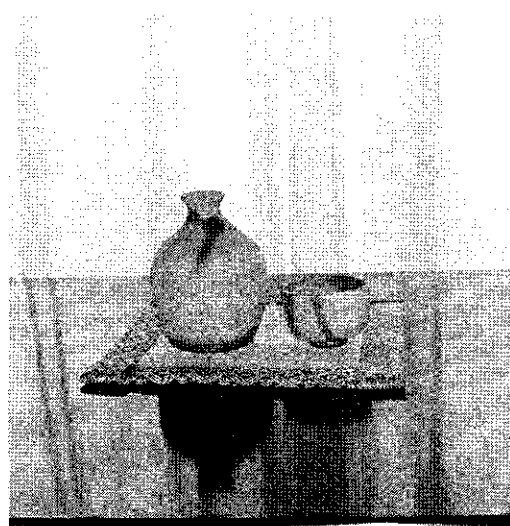
品名	抹茶椀
粘土	古信楽
焼成	酸化
釉薬	石灰透明
寸法	
高さ(cm)	7.5
最大径(cm)	11.5





品名	壺
粘土	信楽
焼成	還元
釉薬	松灰
寸法	
高さ(cm)	11
最大径(cm)	9

品名	酒器
粘土	備前
焼成	酸化
釉薬	ひだすき
寸法	
高さ(cm)	10
最大径(cm)	8



品名	花入れ(手付き)
粘土	信楽
焼成	還元
釉薬	松灰織部
寸法	
高さ(cm)	17
最大径(cm)	10

炎 天

山形俊一郎（昭33短電）

東君も知らずや雲の行方かな

へら釣りの浮子は動かず日脚伸ぶ

春の猫恋なぞ忘れておりました

沈丁や盲導犬の停まりたる

白魚の目にすさまじき此岸かな

心音と時計の刻む夜寒かな

春暁や素足でわたる長廊下

鉄板の鯛焼海に帰りしと

やまおぼろふくかぜおぼろかねおぼろ

桜紅葉塔の虚空を埋めけり

一つ食べ又一つ食ぶ梅筵

梅雨曇峽の鉄橋過ぎにけり

炎天の墓碑は陸軍上等兵

炎天を来て威儀正す悔やみかな

羅の老妓二人の眉化粧

鎮魂の白き碑 いしづみ 百日紅

山あいに竿振る先の藤の花

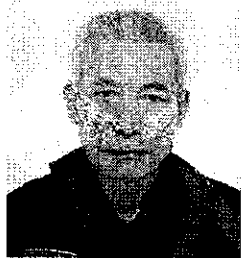
薰風や無精の鬚をなでてゐる

浴衣着て男盛りがやってくる

論文

電気炉製鋼の今昔閑話

穂坂邦光（昭 32 学金）



電気炉は電気エネルギーにより、鉄スクラップの溶解・精錬を行う設備として、1899 年に P・H'eroult により発明され、1916 年に我が国に導入された。当初は主として高合金鋼等特殊鋼に限られていたが、第 2 次世界大戦後、設備や操業技術の改善を経て、平炉を凌ぎ普通鋼条鋼分野を主としてめざましく発展した。

私が卒業後、直ちに入社した東芝製鋼㈱（のちの東伸製鋼㈱、現 JFE 条鋼㈱）は、50トン平炉 2 基が生産の主役で、電気炉は 10 トン以下の小型電気炉 3 基のみであった。当時の工場長 大平一郎（元海軍技術大佐）は、昭和 9 年にベルリン工科大学に派遣され、また、英国ハドフィールド社に学んだこともあって、戦時中は呉海軍工廠製鋼部の電気炉による特殊鋼製造技術に関与¹⁾された方であった。

機会ある毎に海軍の製造技術の話をされ、教えて下さったが、今から考えれば古い製法であったと思う。

例えば、電気炉炉床は苦汁（ニガリ）を使用したマグネシヤでスタンプをしては、水素の問題（白点対策）で駄目だと云われ、ドロマイトをタールで混ぜ合わせ、それを鉄板の上で焼くように混合したものを使用することを強く守らされた。

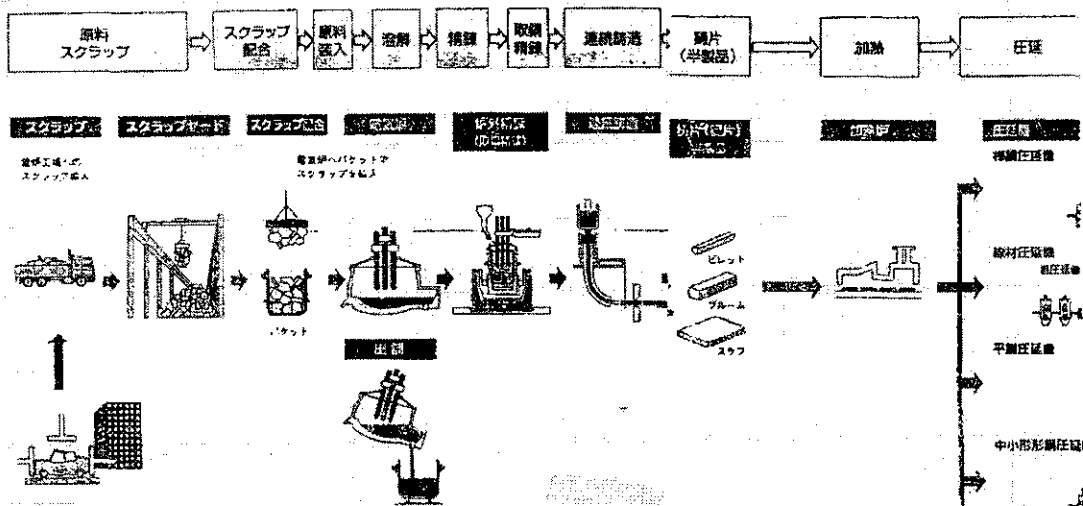
また、現在のように酸素吹精による脱炭作業は出来ずに、鉄鉱石を投入（炭素に対して 10～20Kg/トン使用）し、その沸騰による芯熱をつける方法であった。

酸化期の滓は、先端に丸太を打ち付けたノロカキ棒で除滓し、還元期にカーバイト滓を造りながら精錬した。鋼滓の組成は鋼棒に付着させたノロの色彩や、水に浸した時に発するカーバイト臭で判別しながら、白滓になるまで何回も還元作業を続けた。

熔鋼温度は、バーテストと称し径 12 ミリの軟鋼棒を熔鋼中に数秒間浸漬して引き上げた時のほそり具合で判断し、光学式温度計で出鋼温度を測定した。

電炉鋼材製造工程のフロー²⁾と電気炉製鋼技術の変遷³⁾を日本の 120 トン電気炉の実績として以下に示す。

2)



附录一

出所：日本鉄鋼協会共同研究会電炉部会

時 期	内 容	虚 擬 パ タ ー ン	試験時間 Tap-Tap	電力原単位	生産効率 (130 T 4%)	燃費 油
第 I 期 (昭和51年)	環境設備強化		175 分	560 kWh/t	42 t/b	NmYt 10
第 II 期 (昭和52-53年)	L P の導入 バーナー設置 炉体水冷化		147 分	497 kWh/t	54 t/b	NmYt 12
第 III 期 (昭和54-55年)	水冷パネル増設 高力率燃費 Cインジェクション		110 分	390 kWh/t	78 t/b	NmYt 29
第 IV 期 (昭和57-59年)	S P H の設置 高化燃費 新全燃費の設置		95 分	345 kWh/t	68 t/b	NmYt 26
第 V 期 (昭和60-)	ボトム・ブローイング導入 バーナー増設		95 分	325 kWh/t	102 t/b	NmYt 32

「は120」マークが（黄）色 55 MVA）を調査の通り

3)

注) 2005 年 6 月の Tap~Tap は 63 分となっている
その主なる変化を要約すると次のようになる。

1. アーク炉の大型化

1981年（昭和56年）以降に設置されたものは、変圧器も大きなものを備えて、炉容も大きくなっている。

2. 高電力操業

1964年 W・E・Schwabe らにより提唱された UHP 操業 (Ultra High Power) すなわち、アーク炉容量当たり 550~600KVA 以上の変圧器を備え、大電力を投入して製鋼時間を短縮しようとするもので、わが国では 1969 年 (昭和 44 年) に最初の炉が稼動した。

3. 酸素富化操業 (助燃バーナーの導入) とそれを可能にした熔鋼へのインジェクション操業の活発化
4. 二次精錬の採用によるアーク炉との機能分化
アーク炉は溶解を主作業として、精錬は炉外精錬 (LF) による。
5. 連铸化比率の向上と圧延との直結による連铸機の導入普及
6. その他酸素発生装置 PSA (Pressure Swing Adsorption) などを含めた付帯設備の充実

このような操業改善の結果、二度のオイルショック (1973 年・1979 年) によるエネルギー単価の高騰という厳しい環境を乗り越え、粗鋼に占めるアーク炉鋼の比率は拡大に至って、平成元年には約 31% に達した。

粗鋼生産量

(単位: 1,000 トン)

年度	日本の炉別生産高				世界に対する率	世界粗鋼量
	平炉	転炉	電炉	計		
昭和 30 年 (1955)	7,814 (83.1%)	407 (4.3%)	1,187 (12.6%)	9,408 (100%)	3.5%	270,400
昭和 50 年 (1975)	1,103 (1.1%)	84,428 (82.5%)	16,782 (16.4%)	102,313 (100%)	15.8%	646,900
平成元年 (1989)	0	74,874 (69.4%)	33,034 (30.6%)	107,908 (100%)	13.8%	783,000
平成 16 年 (2004)	0	82,956 (73.6%)	29,762 (26.4%)	112,718 (100%)	10.6%	1,058,619

出所: 経済産業省統計月報

注 1) 日本の過去最高記録は、1973 年 119,322 千トン

注 2) 日本で平炉鋼が生産ゼロになったのは、1978 年 (昭和 53 年)

最近の電気炉製鋼技術の進歩には目覚ましいものがあり、品質および生産性の向上を実現しているが、その主なるものを下記に列記する。

(A) 電気炉関連

イ) 偏心炉底出鋼 (EBT)・・・残湯、スラグフリー出鋼

：介在物低減、鋼中燐・硫黄濃度の低減

ロ) 炉底攪拌

：均一攪拌による品質向上

ハ) 直流電気炉 (DC 炉) ⁴⁾ 1988 年以降次々に設置され現在 20 基以上稼

動している

：電極コストの削減、ホットスポットの解消、補修用耐火物の減少
フリッカー発生量の半減等のメリットがある。

二) 環境対応型高能率アーク炉「エコアーク」・・・旧 NKK 製⁴⁾

：2001 年 12 月岸和田製鋼（大阪）でホットラン後本格稼動に入り、2005 年 11 月には、JFE 条鋼（姫路）にも導入された新型
炉で大きな成果が期待されている。

即ち①電力原単位 200KWH/トンの達成

②連続溶解技術の確立

③発生ダスト量 6 Kg/トンの達成

④鋼中 [N] 50 ppm の達成

⑤フリッカーの半減

⑥騒音の低減

(B) 取鍋精錬技術（炉外精錬）

イ) 成分狭レンジ制御→製品品質の均質化

ロ) 介在物低減、介在物形態制御（Ca-Si Wire 投入）→機械的性質の
安定化

ハ) 熔鋼温度狭レンジ制御→連続铸造（CC）操業の安定化、铸片品質改善

(C) 連続铸造設備

イ) 断気铸造（またはパウダーキャストイング）

：熔鋼二次酸化抑制→非金属介在物の増加抑制、吸室防止

ロ) 大型タンディッシュ化 ：介在物浮上分離促進→介在物低減

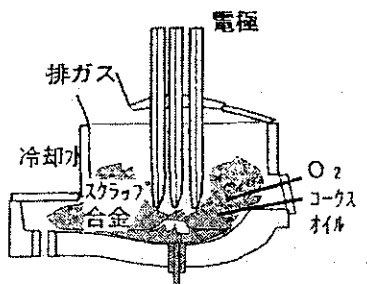
ハ) 電磁攪拌装置（M・S-EMS）

：铸片中心部のデンドライト分散化→中心偏析の改善

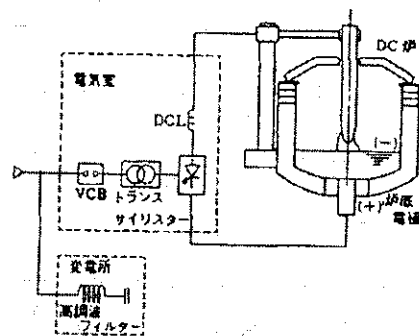
二) ミスト冷却

：均一冷却の促進→铸片表面割れの防止

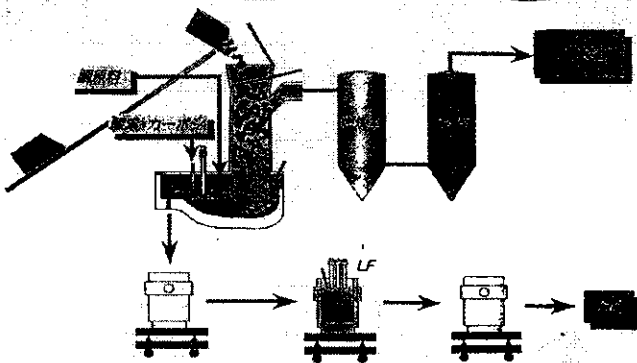
参考資料-2 代表的なアーク式
交流電気炉概念図



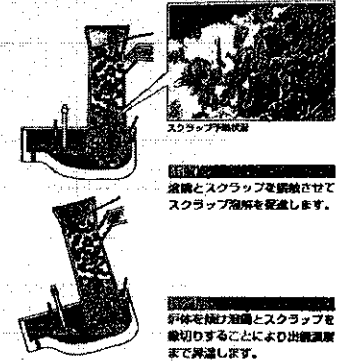
4) 図 直流電気炉の設備構成



プロセスフロー



溶解期と昇温期



日本の電気炉製鋼の将来性として、衰退産業ではなく、今後も益々その重要性を増すものと考えられる。それは

- (1) 高炉：転炉法に比べて設備投資額が低くて済むこと
特に市場規模のあまり大きくない発展途上国や中進国においていえる。
- (2) 主原料が鉄スクラップであることのコスト面での相対的な優位性があること。特に先進国では鉄鋼蓄積量の増加により、スクラップの発生量が増えている。
- (3) 電炉業が鉄スクラップリサイクル産業として環境保全面からクローズアップされている。
- (4) 電炉製鋼技術の発展がもたらした生産性の向上により生産コスト面でも転炉に負けない程に成長している。

等があげられるからである。

最後に当面の重要課題として

- (1) 製鋼コストの徹底的削減
- (2) 電炉操業の自動化、機械化、省人化の推進
- (3) 技術の伝承
- (4) 絶え間ない改善の継続

があげられる。先人達が残してくれた知識と経験を生かし、ユーザーとメーカーが共同で良い電炉設備を造り上げると同時に、それを十二分に活用する研究・開発が望まれるところである。

~~~~~

参考文献

- 1) 海軍製鋼技術物語 (大型高級特殊鋼の製造技術の発展) 堀川一男  
2000年9月アグネ技術センター
- 2) チャイナ シンポジウム in YOKOHAMA 穂坂邦光 (私信)  
神奈川県立県民ホール討議資料 2003年7月
- 3) 114・115回 西山記念技術講座 最近の電気炉操業技術の進歩  
日本鉄鋼協会
- 4) チャイナ シンポジウム in YOKOHAMA 穂坂邦光 (私信)

## 年 頭 雑 感

黒木剛司郎（元茨城大学学長）

平成 16 年は内外多事の世相を他所に、無風快晴の平穏な元旦を迎えることが出来ました。

大学関係の諸氏（現役・OB の教職員、卒業生）から多くの賀状（メール）を頂きましたが、それらの中で、初期の卒業生からのものには近況の報告とともに、母校の「独立行政法人化」についての懸念や疑念をうかがわせる文面がいくつか認められました。意見を求めるものもあったので、私は以下の主旨の返事（メール）を送りましたが、これが今年の「年頭雑感」といったところです。あらためて振り返ると平成 14 年のもの（別添<sup>註</sup>）とあまり変わっていません。

（注：別添は省略させていただきました。編集担当より）

### 国立大学の独立行政法人化

貴君お訊ねの上記の件ですが、これによって母校がどうなるか、私には全く予測できません。今回の法人化という改革は、私が経験した敗戦直後の教育改革と同等もしくはしたらそれ以上の変革ではないかと思います。というのは、昭和 24 年の改革が学制改革と呼ばれたように、もっぱら学校制度上の改革であったのと異なり、今回の改革は、大学の設置形態の抜本的変更にとどまらず、教育と研究という大学本来の業務の内容にまで踏み込んで、それを評価の直接的な対象として予算査定の根拠とするなど、これでは理工系基礎研究や人文系研究の継続が危惧され法人化の道が難航したのも当然であり、さきゆき予測もつかぬのが実感というわけです。

なお、これら二つの改革には、それぞれ異なる背景があります。最初のものは、もちろん敗戦による米国を中心とした連合軍の実質的統治下で行われました。その詳細な経緯については、かつて「新制大学の誕生について」という小文で「学園だより」に掲載したことがあります。その要点は以下のようなものです。

「教育改革は、米国教育使節団が総司令部 GHQ に勧告した報告書に基いて、間接統治下の至上命令ともいえる形で実施されたが、昭和 21 年 3 月の第一次報告書は、初等・中等教育についてのいわゆる 6・3・3 制の方式を勧告したものであって、高等教育には全く触れていない。それどころか、昭和 25 年の第二次報告書には以下の記

述がある。

・・・米国教育使節団は、高等教育についての勧告では、現在の教育機関の組織のままで望ましい改革を行うことに留意したが、しかし、日本人はこれらの全機関を改革するには高等教育の全制度を改組するのが必要と考え、その改革を外形的面において急速に成し遂げた。・・・

つまり、米国は高等教育の改革の責任が全て日本側にあることを匂わせている。

なお、かつて文部省の高等教育を担当した一高官は、上記の日本人とは当時教育使節団に協力した日本教育家委員会の一部メンバーであると述べている。 」

これに対して、今回の法人化という改革の背景はどうか。ここ十年ほどの歴史を回顧することは最初の改革に比べ容易でしょう。

それは、中曽根内閣の国鉄民営化から始まる土光臨調以降今日まで延々と続いている規制緩和とそれと表裏一体の行財政改革の一環であることは明らかです。

さらにまた、その背景として グローバリゼーション という怪物？があるように思われるのです。これは産業・経済・金融など全ての面で グローバル・スタンダード なる基準を押し付けるというものです。新聞その他のメディアが伝える情報をみるかぎり、このことは、今や戦後長く続いた冷戦を勝利して世界最強国となった米国の 「アメリカン・ウェイ・オブ・ライフ」 を各国の「生活基準」にせよというに外なりません。

このように見てくると、二つの改革の背景には、いずれも米国の落とす影が濃く映っているとは思われませんか。

背景論議はこれくらいにしますが、私は年齢古希を迎えつつある初期の卒業生諸君に対し、つぎのように語りかけたいと思います。

「諸君の母校・茨城大学工学部はこの春で、その 55 年の歴史を閉じる。それは、かつて多賀工業専門学校が昭和 24 年にほぼ 10 年の歴史を閉じたのと同じであろう。そして、さらにいうならば、同じ時点で私のような大正生まれのものが旧制高校という愛惜してやまぬ母校を失ったこととも同一である。

私の母校は明治 34 年の創立ですから、ちょうど半世紀の寿命でしたが、工学部の寿命はそれより 5 年長い。旧制高校の OB たちは明治から昭和にかけてのわが国の発展・近代化に努力したが、多賀高専と工学部の OB たちが、敗戦後の廃墟と化した国土のなかから、祖国復興のため傾注した努力とその成果とは、前者に勝るとも劣らないものと私は確信しています。

諸君が実証して見せた技術者としての不屈の伝統は、必ずや新たな法人大学にも受け継がれていくことを期待したいものです。

旧制高校の OB たちが、年々歳々メンバーが減る一方の中で同窓会の維持に懸命のよ

うに、諸君も、それよりはるかに若い同窓会を守り立てていかれるよう祈りつつ、筆をおきます。

平成 16 年 1 月 黒木剛司郎 』

## お わ り に

この小文集も、国立大学が「新制大学の誕生」に始まり、約半世紀を経て「独立行政法人」として新たなスタートを切ったところで幕を引くことにします。

21世紀は、知識・情報・技術が社会のすべての分野での行動の基盤として欠かさない「知識基盤社会」の時代と予測されており、高等教育の重要性はこれまで以上に増大するといわれます。

一方、近く決定される我が国の第3期科学技術基本計画は、これまでの「知の創造と活用により世界に貢献できる国」をふくむ3本の理念を実現することを謳って策定されると聞いています。

茨城大学が、このような「科学技術創造立国」の実現に向かって大きく寄与されるよう期待したいと思います。

## 補 足

最近の「茨城大学のHP」によれば、上記の 期待 にこたえるようないくつかの情報（下記）に接することができるが、これは既述した私の「夢想」実現への第一歩ともいうべきか・・・

### 1：「大学院理工学研究科 応用粒子線科学専攻」の発足

これは量子基礎科学、構造生物学、中性子材料科学、エネルギー・リスク情報科学、基礎原子力科学の諸講座で構成する独立専攻の研究科で、原子力機構と全面的に連携するもの。

### 2：上記の本年度副専攻長である工学部の新村教授はノーベル化学賞受賞者をふくむ米仏の科学者と共同で申請したプロジェクト「中性子回折実験データを基にした新しい生体物質結晶構造解析」により、国際共同研究「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム HFSP」の大型国際共同研究費を獲得。

### 3：さる2月7日、茨城大学は「東京大学サステナビリティ学連携研究機構」に参加が決定した。「サス・・・学」は「地球持続学」ともいうべき新しい言葉。現代社会がかかえる諸問題を解決し、地球を持続可能とする学問の構築を狙うもの。参加するのは、東京・京都・大阪・北海道・茨城の五大学で、本学には「地球変動適応科学研究機関 ICAS」がおかれ、工学部の三村教授を中心に活動を始めている。

以上

多賀工業会千葉県支部年表(昭和31年～昭和60年)

| 年     | 月日    | 千葉県支部歴史                                                    | 社会情勢                                                                    |
|-------|-------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 昭和31年 | 2/5   | 千葉県支部設立総会開催 船橋 稲荷屋<br>・初代支部長 原田正夫(16専精)<br>・幹事長 羽鳥忠夫(17専原) | 弥彦神社初詣事故<br>日ソ交渉領土で難航し中止<br>日本マナスル登山隊登頂に成功<br>経済白書「もはや戦後ではない」<br>太陽族ブーム |
| 昭和35年 |       | 臨時総会 船橋ヘルスセンター<br>・幹事長 大内 弘(18専精)                          | 浩宮様がご誕生<br>全学連デモが国会へ<br>国労・勤労が安保反対スト<br>安保条約調印                          |
| 昭和49年 | 11/10 | 第1回総会 船橋フナズシ                                               | 小野田少尉がソウ島から帰還<br>堀江謙一無寄港世界一周成功<br>三菱重工ビル爆発事件<br>長嶋茂男が引退                 |
| 昭和50年 | 2/23  | 第2回総会 船橋市ステーションビル                                          | 美濃部都知事三選<br>エリザベス女王夫妻が来日<br>経企庁戦後初マイナス成長発表<br>日本赤軍がアラブで大使館占拠            |
| 昭和51年 | 2/29  | 第3回総会 千葉市東天紅                                               | 鹿児島で五つ子誕生<br>ロッキード事件起る<br>田中角栄前首相が逮捕される<br>酒田市で大火                       |
| 昭和52年 | 2/27  | 第4回総会 船橋ヘルスセンタ長安殿                                          | ロッキード裁判開始<br>英国保守党サッチャー党首来日<br>有珠山32年ぶりに噴火<br>日本赤軍JAL(パリー東京)ハイジャック      |
| 昭和53年 | 2/26  | 第5回総会 ホリデー・イン成田                                            | 成田空港開港<br>日本人の平均寿命世界一へ<br>日中平和友好条約調印<br>江川卓 空白の一日でトレード                  |
| 昭和54年 | 3/4   | 第6回総会 船橋市三田浜菜園                                             | グラマン疑惑発覚<br>上越新幹線「大清水トンネル」開通<br>がリンスント 日・祝日全面休業開始<br>第5回首脳会議「東京サミット」    |
| 昭和55年 | 3/9   | 第7回総会 千葉市東天紅                                               | 自衛隊スパイ事件が発覚<br>浜田幸一「ラスベガス賭博事件」<br>公定歩合9% 高金利時代へ<br>国鉄の負債が六兆円超えが判明       |
| 昭和56年 | 7/5   | 第8回総会 千葉市東天紅                                               | ローマ法王ヨハネ・パウロ二世来日<br>中国残留孤児肉親探しに来日<br>夕張炭坑でガス突出事故<br>京大福井謙一教授ノーベル化学賞     |
| 昭和57年 | 7/4   | 第9回総会 千葉ステーションビル                                           | ホテルニュージャパン火災事故<br>JAL羽田沖で着陸ミス<br>500円硬貨発行<br>上越新幹線開通(大宮ー新潟)             |
| 昭和58年 | 7/3   | 第10回総会 船橋市西船玉姫殿                                            | 加映映画祭「楳図節考」グランプリ<br>戸塚ヨットスクールの戸塚校長逮捕<br>大韓航空機をソ連機が撃墜                    |
| 昭和59年 | 6/17  | 第11回総会 船橋市西船玉姫殿                                            | 中曽根首相が靖国神社に参拝<br>三井三池の有明鉱海底坑道で事故<br>植村直己マッスル冬季単独登頂<br>江崎グリコ事件           |
| 昭和60年 | 6/23  | 第12回総会 松戸市玉姫殿<br>・2代目支部長 林 詮(17専金)<br>・幹事長 山田泰雄(19学機)      | 「科学万博つくば85」<br>大鳴門橋開通<br>日航ジャンボ機御巣鷹山に墜落<br>関越道全線開通                      |

多賀工業会千葉県支部年表(昭和61年～平成6年)

| 年     | 月日                               | 千葉県支部歴史                                                                                                                                                                          | 社会情勢                                                                                   |
|-------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和61年 | 6/29                             | 第13回総会 松戸市玉姫殿<br>・講演「税金四方山話」地曳一夫(17専金)                                                                                                                                           | 第12回先進国首脳会議「東京ミット」<br>チャールズ皇太子とダイアナ妃来日<br>土井たか子社会党首に<br>伊豆大島三原山噴火、全島民脱出                |
| 昭和62年 | 6/28                             | 第14回総会 千葉駅ビルペリエホール                                                                                                                                                               | 帝銀事件平沢死刑囚が肝炎で死亡<br>NHK衛星テレビが24時間放送開始<br>天皇陛下が「慢性すい炎」で手術<br>利根川進教授がノーベル賞                |
| 昭和63年 | 4/29                             | 第15回総会 船橋市西船玉姫殿<br>・3代目支部長 山田 泰男(19専機)<br>・幹事長 三幣正人(24専機)<br>・講演「電子顕微鏡と人生哲学」田邊良美(17専金)                                                                                           | 青函トンネル開業<br>リクルート疑惑<br>東京湾蒲賀水道で潜水艦と漁船が衝突                                               |
| 平成元年  | 5/6/11<br>10/11/19               | 千葉県支部会報創刊号 発行<br>第16回支部総会 西船玉姫殿<br>支部会報2号発行<br>「はとバス」で都内観光<br>(年会費納入者196名)                                                                                                       | 昭和天皇ご崩御(87歳)<br>消費税実施始まる<br>美空ひばりが死亡<br>幼女連続誘拐犯宮崎勤を逮捕<br>ベルリンの壁崩壊                      |
| 平成2年  | 5/6/3<br>10/12/10                | 支部会報3号 発行<br>第17回支部総会 幕張メッセ<br>支部会報4号発行<br>ゴルフコンペ 千葉スプリングCC(12/10)<br>(年会費納入者288名)                                                                                               | 「大学入試センター試験」始まる<br>「花の万博」(大阪)開催<br>天皇即位の礼<br>福岡国際女子柔道で田村(中3)優勝                         |
| 平成3年  | 5/6/23<br>7/23<br>10/10/10/12/11 | 支部会報5号 発行<br>第18回支部総会 フローラ西船<br>・講演「俳句への誘い」塚越要夫(25専電)<br>ゴルフコンペ 千葉スプリングCC(7/23)<br>「はとバス」で都内観光<br>支部会報6号発行<br>異業種の企業見学と忘年会(市川市大黒屋)<br>(日本フレイションキャスティング(株)高屋八幡工場)<br>(年会費納入者256名) | 皇太子徳仁親王 立太子の礼<br>ソ連ゴルバチョフ大統領来日<br>信楽高原鉄道で正面衝突<br>雲仙普賢岳で噴火 大火砕流発生<br>横綱千代の富士引退/若・貴ブーム到来 |
| 平成4年  | 5/7/5<br>9/6<br>9/25<br>10/      | 支部会報7号 発行<br>第19回支部総会 フローラ西船<br>・講演「酒と遊ぼう」山本芳正(22専機)<br>本部50周年記念式典 日立ビルセンター(9名出席)<br>ゴルフコンペ 千葉スプリングCC(9/25)<br>支部会報8号発行<br>(年会費納入者277名)                                          | 貴乃花が史上最年少で優勝<br>佐川急便に特別背任容疑<br>国公立学校で第2土曜日を休日<br>天皇・皇后が中国訪問                            |
| 平成5年  | 5/6/26<br>10/10/28<br>12/2       | 支部会報9号 発行<br>第20回支部総会 千葉駅ビル ペリエホール<br>・講演「千葉県政の方針並びに県下産業について」<br>沼田武千葉県知事<br>会報10号発行<br>ゴルフコンペ 船橋CC(12/2)<br>工場見学と忘年会(船橋市 稲荷屋)<br>(日本建鐵(株)船橋工場)<br>(年会費納入者244名)                  | 皇太子妃に小和田雅子さん内定<br>Jリーグスタート<br>皇太子と雅子様のご成婚<br>北海道南西沖地震<br>屋久島と白神山が「世界自然遺産」              |
| 平成6年  | 5/7/24<br>10/10/28<br>12/2       | 支部会報11号 発行<br>第21回支部総会 フローラ西船<br>・講演「相続税・贈与税の正しい知識」<br>地曳一夫(17専金)<br>会報12号発行<br>ゴルフコンペ 船橋CC(12/2)<br>工場見学と忘年会(フローラ西船)<br>(県立現代産業科学館・サッポロビール千葉工場)<br>(年会費納入者232名)                 | 社会党村山首相に就任<br>「コロンビア」15日間宇宙飛行<br>大江健三郎がノーベル文学賞<br>1ドルが96円35銭                           |



多賀工業会千葉県支部年表(平成7年～平成13年)

| 年     | 月日                         | 千葉県支部歴史                                                                                                                                                                                                                                         | 社会情勢                                                                                                   |
|-------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成7年  | 5/7/29<br>10/25<br>12/2    | 支部会報13号 発行<br>第22回支部総会 フローラ西船<br>ゴルフコンペ 千葉SPC (10/25)<br>工場見学と忘年会(船橋グランドホテル)<br>(旭硝子(株)千葉工場)<br>(年会費納入者216名)                                                                                                                                    | 阪神大震災<br>地下鉄サリン事件<br>ロシアサハリン州北部で地震<br>オーム真理教に解散命令<br>「ゆりかもめ」開業<br>Windows95発売                          |
| 平成8年  | 1/5/7/21<br>10/11/         | 支部会報14号発行<br>支部会報15号 発行<br>第23回支部総会 船橋グランドホテル<br>ゴルフコンペ<br>会報16号発行<br>(年会費納入者220名)                                                                                                                                                              | 大手スーパー各社元旦より営業<br>吉田光一さん日本人初の宇宙飛行<br>羽生名人史上初7冠<br>チャールズ皇太子ダイアナ妃離婚<br>原爆ドームと厳島神社「世界文化遺産」                |
| 平成9年  | 4/7/13<br>10/              | 支部会報17号 発行<br>第24回支部総会 フローラ西船<br>・第4代支部長 三弊正人(24学機)<br>・幹事長 税所 裕(28学機)<br>・俳句、囲碁、史跡・万歩、ゴルフの同好会発足<br>・定例幹事会(偶数月 第2日曜日)を決定<br>・講演「粉末冶金製品の紹介・こぼれ話」 岡部萌生(19専精)<br>会報18号発行<br>囲碁同好会 (10/26)<br>俳句同好会(第1回コンクール)<br>史跡・万歩同好会(11/16)<br>(年会費納入者258名)    | 鄧小平(92歳) 死亡<br>消費税率3%→5%<br>リマ(ペルー)日本大使公邸占拠<br>ダイアナ元皇太子妃事故死<br>山一證券自主廃業                                |
| 平成10年 | 1/11<br>4/6/14<br>10/      | 新年会(船橋 三田浜楽園)<br>支部会報19号 発行<br>第25回支部総会 フローラ西船<br>会報20号発行<br>囲碁同好会 (3/1, 7/5, 11/29)<br>俳句同好会(前期・後期コンクール)<br>史跡・万歩同好会(1/18(中止), 3/29, 5/30, 7/26, 9/27(中止), 11/22)<br>ゴルフ同好会(4/17, 5/29, 7/3, 10/29)                                            | 7/16 カタール州大地震<br>民主党結成<br>和歌山市 砒素入り毒物カレー事件<br>北朝鮮テポドン発射<br>中国江沢民国家主席公式に訪日<br>明石海峡大橋開通<br>Windows98発売   |
| 平成11年 | 1/?<br>4/6/19<br>10/       | 新年会(?)<br>支部会報21号 発行<br>第26回支部総会 グリーンタワーパレス千葉<br>会報22号発行<br>囲碁同好会 (2/26, 5/29, 8/28, )<br>俳句同好会(前期・後期コンクール)<br>史跡・万歩同好会(1/31, 3/28, 5/30, 7/11, 9/26, 11/28)<br>ゴルフ同好会(4/28, 5/23, 7/7, 10/26)<br>(年会費納入者239名)                                  | EU公式通貨「ユーロ」導入<br>大手15行に公的資金導入が内定<br>石原慎太郎が都知事初当選<br>東海村原子力臨海事故<br>世界総人口 60億突破                          |
| 平成12年 | 1/9<br>4/12/6/11<br>10/    | 新年会(船橋 ホテルサンガーデンラポート)<br>支部会報23号 発行<br>第27回支部総会 木更津 ベイプラザホテル観月<br>会報24号発行<br>囲碁同好会 (2/26, 5/27, 8/26, 12/3)<br>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)<br>史跡・万歩同好会(1/30, 3/26, 5/21, 7/8(バス), 9/29(中止), 11/26)<br>ゴルフ同好会(4/13, 7/6, 7/25, 10/18)<br>(年会費納入者233名) | グリコ・森永事件時効<br>地下鉄中目黒付近で脱線衝突事故<br>東京都の人口1200万人突破<br>三宅島に災害救助法、自衛隊出動<br>雪印乳製品で食中毒<br>Windows 2000/Me 発売  |
| 平成13年 | 1/14<br>3/1<br>6/10<br>10/ | 新年会(船橋 三田浜楽園)<br>支部会報25号 発行<br>第28回支部総会 成田 ひかたや第二支店<br>会報26号発行<br>囲碁同好会 (2/24, 6/23, 8/25, 11/17)<br>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)<br>史跡・万歩同好会(3/25, 5/27, 7/8(バス), 9/9, 11/18)<br>ゴルフ同好会(4/20, 7/19, 10/31)<br>(年会費納入者255名)                           | JR新大久保ホーム転落事故<br>「えひめ丸」米国原潜と衝突<br>小泉純一郎第87代首相に<br>大阪「池田小」事件<br>アメリカ同時多発テロ発生<br>愛子様ご誕生<br>Windows XP 発売 |

多賀工業会千葉県支部年表(平成14年～平成18年)

| 年 月 日 |                               | 千葉県支部歴史                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 社会情勢                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成14年 | 1/13<br>4/14<br>6/30<br>10/   | <p>新年会(成田 ひかたや第二支店)</p> <p>支部会報27号 発行</p> <p>第29回支部総会 市川 山崎製パン厚生年金基金会館</p> <p>会報28号発行</p> <p>囲碁同好会(3/30, 6/1, 8/26, 12/1)</p> <p>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)</p> <p>史跡・万歩同好会(1/13, 3/24, 5/26, 7/21(バス), 9/29, 11/24)</p> <p>ゴルフ同好会(4/25, 5/30, 7/29, 10/30)</p> <p>(年会費納入者224名)</p>                                                                                                     | <p>日本人の平均寿命 男81/女87</p> <p>中国瀋陽市の日本総領事館に5人の脱北者</p> <p>第17回ワールドカップ 決勝戦横浜で開催</p> <p>ブラジルが優勝</p> <p>小泉首相北朝鮮訪問、金正日と会談</p> <p>拉致被害者5名帰国</p> |
| 平成15年 | 1/18<br>4/<br>6/8<br>10/      | <p>新年会(市川 銀座アスター)</p> <p>支部会報29号 発行</p> <p>第29回支部総会 柏第一ホテル</p> <p>・第5代支部長 税所 裕(28学金)</p> <p>・幹事長 檜山邦良(30学機)</p> <p>・講演「海外ボランティアについて」 高橋孝雄(34学電)</p> <p>会報30号発行</p> <p>囲碁同好会(3/1, 6/28, 8/23, )</p> <p>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)</p> <p>史跡・万歩同好会(1/18, 3/30(中止), 5/25, 7/6(バス), 9/28, 11/30)</p> <p>ゴルフ同好会(4/21, 6/2, 7/29, 10/31)</p> <p>(年会費納入者218名)</p>                              | <p>SARSで世界中が怯えた</p> <p>鹿児島の花火工場で爆発</p> <p>三浦雄一郎(70)エベレスト登頂</p> <p>総選挙で民主党躍進</p> <p>米国でBSE感染が判明</p>                                     |
| 平成16年 | 1/13<br>4/11<br>6/30<br>10/10 | <p>新年会(船橋市 旅館 玉川)</p> <p>支部会報31号 発行</p> <p>第31回支部総会 幕張プリンスホテル</p> <p>・講演「アラビアの社会と石油」 北村勝昭(40学化)</p> <p>会報32号発行</p> <p>囲碁同好会(2/28, 5/22, 8/21, 11/27)</p> <p>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)</p> <p>史跡・万歩同好会(1/11, 3/28, 5/23, 7/4(バス), 9/26, 11/28)</p> <p>ゴルフ同好会(4/26, 6/3, 7/9, 10/8, 11/19)</p> <p>(年会費納入者208名)</p>                                                                       | <p>イラク戦争勃発</p> <p>自衛隊イラク派遣</p> <p>ダイエー自主再建断念</p> <p>新潟中越地震、新幹線も脱線</p> <p>新球団「楽天」誕生</p> <p>紀宮清子内親王婚約内定</p> <p>スマトラ沖大地震、インド洋巨大津波発生</p>   |
| 平成17年 | 1/9<br>4/10<br>5/28<br>10/9   | <p>新年会(印旛郡栄町 割烹 金田屋)</p> <p>支部会報33号 発行</p> <p>第32回支部総会 国民年金保養センター「そとぼう」</p> <p>・第6代支部長 檜山邦良(30学機)</p> <p>・幹事長 大和田武義(32学電)</p> <p>・講演「大学での教育・研究よもやま話」 明石和夫(22学金)</p> <p>会報34号発行</p> <p>囲碁同好会(2/26, 5/21, 8/20, 11/27)</p> <p>俳句同好会(前期・後期コンクール、バス吟行)</p> <p>史跡・万歩同好会(1/9, 3/27, 5/22, 7/7(バス), 9/24(中止), 11/26)</p> <p>ゴルフ同好会(4/15, 6/10, 7/11, 10/21, 11/18)</p> <p>(年会費納入者189名)</p> | <p>三宅島全島避難解除</p> <p>中部国際空港開港</p> <p>「愛知万博」開催</p> <p>JR福知山線脱線事故</p> <p>第44回総選挙で自民党圧勝</p>                                                |
| 平成18年 | 1/9<br>4/9<br>5/27<br>11/     | <p>新年会(勝浦市 ホテル「吉夢」)</p> <p>支部会報35号 発行</p> <p>第32回支部総会 千葉市 東天紅</p> <p>・講演「工学教育半世紀」黒木剛司郎(茨大名誉教授)</p> <p>会報36号発行</p> <p>囲碁同好会(2/25, 6/3, 10/26, 27)</p> <p>俳句同好会(前期・後期コンクール、記念大会)</p> <p>史跡・万歩同好会(1/9, 3/25, 5/13, 7/6-7(バス), 9/23, 11/25)</p> <p>ゴルフ同好会(4/21, 5/30, 7/21, 8/26, 10/10)</p> <p>(年会費納入者 名)</p>                                                                          |                                                                                                                                        |

# 報 告

## 平成 18 年度第 33 回千葉県支部総会報告

担当：幹事長大和田、副支部長高橋、企画山形、金坂

平成 18 年度の第 33 回千葉県支部総会は、5 月 27 日(土)千葉市中心部の「千葉東天紅」で開催しました。当会場はセンシティタワー 22 階で総会、そして 23 階で懇親会を行いました。千葉市街地・千葉港・京葉工業地帯など 360 度大眺望を楽しみながらの、千葉県支部創立 50 周年記念総会でした。

来賓として、本部副理事長の小林正典教授や東京・埼玉・水戸勝田・仙台・栃木・静岡の支部長や関係者を迎え、会員 32 名の参加の下に、予定議題の審議がなされ、次のような主要事項が、参加者一同により承認されました。

(1) H17 年度の事業報告と決算報告と会計監査報告

(2) H18 年度の事業計画と予算案

○本件については、創立 50 周年記念としての各種事業や、本総会においての千葉県支部同窓会活動に貢献した元支部長 5 名（原田、林、山田、三幣、税所）と俳句(塚越)・囲碁(高橋孝雄)・ゴルフ(高萩)の担当幹事を表彰する事を含む。

○H18 年度予算案の審議において、会員から「H18 年度予算に予備費を計上しておくべきである。」との発言があり、予算科目の次期繰越金を予備費として計上する事について、了承された。

(3) 監事顧問の交代新任 顧問に中村前監事、税所前支部長、監事に安本(33 短機)を紹介。

続いて、総会で承認された同窓会活動貢献者表彰を行いました。

更に、創立 50 周年記念行事としての講演会を行いました。講師は茨城大学名誉教授の黒木剛司郎先生(元茨大学長・元工学部長)で、演題は「工学教育半世紀」と題して、先生自身の生涯活動としての工学分



野を中心にした教育・研究に関する話で、戦前戦中戦後の波乱の人生物語でした。

懇親会は、芝山幹事の司会により進行しました。参加者の中で最も若い渡辺和夫さん(48 電気)による乾杯のあと、千葉県支部の各同好会の活動報告や予定の詳細紹介を担当幹事より行いました。その後、池田潤一さん(28 金属)による地震予知に関する最近の技術動向紹介・橘弘さん(38 電気)のクラリネット演奏その他数人の近況紹介などを行い、終わり頃懐かしい校歌寮歌の合唱など、和気藹々の懇親会となりました。

会報でも紹介のように、今年は創立 50 周年としての特別行事が計画・実行されているので、会員の皆様は、これ等に奮って参加支援下さいます様お願いいたします。特に若い方の積極的参加を期待しております。

## 平成 18 年度多賀工業会理事会報告

支部長 檜山 邦良

標記の理事会は平成 18 年 6 月 24 日(土) 両国パールホテル(東京都墨田区横綱 1-2-24)で、寺門会長、鶴田理事長ほか本部および支部から関係者 23 名の出席のもとに行われた。

理事会の概要はつぎのとおりである。

1. 会長の挨拶 茨城大学各学部にある同窓会の相互親睦と大学との連携を図り、茨城大学の発展に寄与する目的で、同学同窓会連合会設立の協議が進められ、会長の職務も一層多忙となった。就任時の希望のとおり、会長は学外正会員から選出を待つ間、つなぎ役として引き受けたので、次期会長を選出することを望んでいる。(注 本文 6、7 項参照。)
2. 理事長挨拶 会費の収入は、新入生の入会金、終身会費である。活動助成金の制度化など、在学生サービスを一層高めたい。  
個人情報保護法により、大学事務局から卒業生の個人情報の提供が得られない状況にあり、卒業生の名簿作成、会費未納者の納入督促に困難な状況にあることが説明された。
3. 功労者の推薦 前いわき支部長 高橋不二男、前理事長 村野井徹夫の 2 氏を承認。
4. 平成 17 年度事業報告および収支決算報告 議決承認された。
5. 会計監査報告 収支決算に誤りのないことが報告された。なお、監査から支部助成費について、毎年 5 パーセントの減額することが望ましいと発言があった。
6. 次期会長選出について 会長、理事長、副理事長、および日立総合、水戸勝田、東京の各支部長によって検討する。
7. 茨城大学同窓会連合会の加入が議決された。

以上

# 会員たより

平成 18 年度総会の出欠返信葉書に記載された近況による。

- |         |       |                                                                                                                                                           |
|---------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭 16 専精 | 原田 正夫 | 小湊誕生寺参拝、『吉夢』の新年会有り難うございました。5/27 の総会、懇親会には参加させて戴きます。身体（腰脚痛、脳梗塞疑い、胃腸疑い）は医師の指導を守り、結婚相談、仲人の支部長として若さを保っております。                                                  |
| 昭 17 専金 | 檜山 良平 | 腰痛のため静養中、会報たのしく拝読してます。                                                                                                                                    |
| 昭 19 専機 | 小林 秀夫 | 体調不良のため行事全部欠席します。                                                                                                                                         |
| 昭 19 専機 | 山田 泰雄 | 50 周年おめでとうございます。心に残る様な企画を進めて下さい。                                                                                                                          |
| 昭 20 専機 | 鈴木 友生 | 足が不自由で参加できません。ご盛会を祈念致します。                                                                                                                                 |
| 昭 20 専原 | 齊藤 勝夫 | 愚妻の介護のため（平成 11 年 12 月 18 日脳動脈瘤手術）出席不能であり、残念です。今回はなんとかし 50 周年出席してみたい。                                                                                      |
| 昭 22 専金 | 明石 和夫 | 桜花も散りました。来年も満開の桜が見られるのを願って、体の管理に気を付けます。                                                                                                                   |
| 昭 22 専通 | 幸道 貞一 | 7 月 6 日～7 日の一泊バス旅行には参加しますのでよろしく。                                                                                                                          |
| 昭 22 教電 | 大木 政虎 | 体調を崩し、外出を控えております。                                                                                                                                         |
| 昭 23 専金 | 篠崎 光夫 | 元気にて過ごしております。                                                                                                                                             |
| 昭 24 専電 | 佐藤 達  | 年令の点でも今後会に出席出来ませんので退会させていただきます。                                                                                                                           |
| 昭 24 専船 | 草刈 董  | 5 月は、諸々の総会でその準備等に迫られてしまいました。済みませんが欠席させて頂きたく。大原の中村善一郎氏が心配してくれています。                                                                                         |
| 昭 25 専精 | 高松 恒夫 | 目下リハビリ中です。皆様によろしく。                                                                                                                                        |
| 昭 25 専電 | 森 勇一  | 体調不良に付き欠席致します。皆様お元気で活躍ください。                                                                                                                               |
| 昭 26 専精 | 熊谷 達夫 | どうか元気を保って過ごしています。毎日何かと雑用等で適当に忙しくやって居ります。                                                                                                                  |
| 昭 28 学機 | 小白井和典 | 会報 35 号見良くなっておりますね。                                                                                                                                       |
| 昭 29 学機 | 大津 正夫 | 私用で出掛けますので欠席します。ご盛会をご祈念申し上げます。                                                                                                                            |
| 昭 29 学電 | 茅根 正  | 凡々たる日々の生活にも生きる喜びを感じる齢となりました。諸兄の御健勝を祈念してやみません。                                                                                                             |
| 昭 30 学機 | 高岡 厚  | 前立腺手術入院中です。総会・懇親会共退院予定の週となりますので、出席を断念致します。                                                                                                                |
| 昭 30 学原 | 石川 英二 | 巨竜中国の“光と影”面白く読ませて頂きました。そして大変参考になりました。IT 研究会にてご指導願えますか、（パソコンについて）E メールができる程度ですが。毎日体調のコントロールでいっぱいの生活です。<br>Ans. [トラブル・質問等を受け、アドバイスできる体制を整備しますので、暫く待ってください。] |
| 昭 31 学金 | 田中 宏  | 千葉市での総会には出たいと思っていたが、すでに 2 つのイ                                                                                                                             |

- 昭 31 学電 原澤 宏毅 ベントがあり、参加できません。残念。
- 昭 32 学機 後藤 隆 伝統工藝(陶芸)を勉みながら、県展の発表を楽しんでいます。
- 昭 32 学電 小室 秋生 お世話になっております。毎回不参加で申し訳ありません。
- 昭 34 学機 館 梅里 糖尿病の数値悪化少々具合悪し。
- 大変連絡が遅れ申し訳ありませんが、平成 16 年に茨城に転居いたしました。
- (〒313-0041 常陸太田市稲木町 944)
- 昭 34 学電 須田 照男 法事と重なり出席出来ません。色々と老化現象が出て来てます。
- 昭 34 短電 遠藤 雅久 元気です。
- 昭 35 学機 矢野 博人 勤務のため参加出来ませんが、盛会となることを祈念しております。」
- 昭 35 学金 渡部 林二 元気にてシニアライフを楽しんでいます。今後共宜しく願います。
- 昭 38 学電 橘 弘 ゴルフ同好会ではお世話になっております。住所は茨城県守谷市ですので訂正をお願いします。
- (守谷市松前台 3-4-13)
- 昭 38 学電 兼子 八郎 5/25 は東京支部幹事会があり、残念乍ら総会出席出来ません。
- ご盛会を祈ります。
- 昭 39 学電 山本 一夫 皆様の御様子を拝見できて嬉しいです。川柳に狂っています。
- 昭 40 学金 望月 晴雄 住所等変更ありません。(‘05.6.10)
- 業務の都合上総会に出席できません。(‘06.5.10)
- 昭 44 学電 梅田 毅明 本年 1 月に日本精工(株)を定年退職し、3 月より下記に勤務しています。(株)千葉精密開発部 047-422-7911
- 昭 48 院化 沼倉 研史 米国でのビジネス展開のお手伝いをはじめました。詳しくはメールでお問合せ下さい。(‘05.5.31)
- [dnumakura@attglobal.net](mailto:dnumakura@attglobal.net)
- [www.dkaresearch.com](http://www.dkaresearch.com)
- 現在米国で、新しいフレキシブル半導体の技術開発プロジェクトを立ち上げています。参加企業を求めています。
- (‘06.6.5)
- 昭 50 短機 中川 誠 いつも行事不参加ですみません。

## 訃 報

|       |         |                    |
|-------|---------|--------------------|
| 近藤 敏  | 昭 20 専通 | 平成 16 年 9 月 1 日歿   |
| 塩沢 寛  | 昭 23 専機 | 平成 17 年 6 月 7 日歿   |
| 長尾 和愛 | 昭 16 専機 | 平成 17 年 11 月 19 日歿 |
| 脇谷 義正 | 昭 20 専通 | 平成 18 年 5 月 13 日歿  |
| 平塚新兵衛 | 昭 23 専通 | 平成 18 年 7 月 17 日歿  |

謹んでご冥福をお祈りいたします。

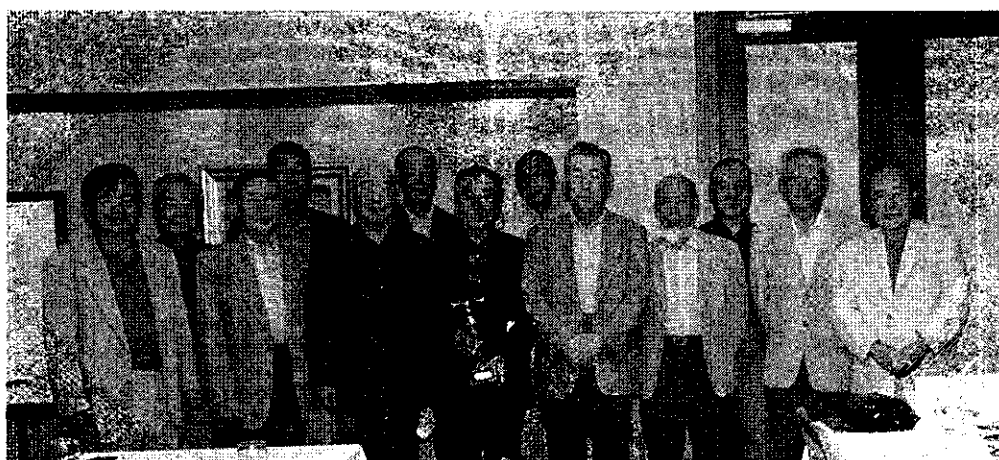
## 創立記念ゴルフコンペが行われました

ゴルフ同好会会長 高萩 隆司

千葉県支部創立 50 周年を記念して、小見川東急ゴルフクラブにおいて、9 月 26 日に、ゴルフ大会が行われました。当日の午前中は曇天ながらもまずまずの天気でしたが、午後になって低気圧の通過により風雨ともにひどくなり、最悪のコンディションとなってしまいました。このような中、13 名のプレーヤーは、悪条件と戦い、果敢にコースに挑戦いたしました。天気がよければ、利根の流れを一望できるのですが、霧にかすんだ水郷となりました。それでも、木立の中から漂う金木犀の香りが、緊張感をふと和ませてくれる 9 月のゴルフでした。

このようなコンディションの中で、スコアは満足のいくものではなかったとの声が多かったのですが、結果は次の通りでした。

|        |                                 |           |            |
|--------|---------------------------------|-----------|------------|
| 優勝     | 藤岡英智郎氏 (33 学機)                  | (GROSS)89 | (NET) 72.2 |
| 準優勝    | 高萩 隆司氏 (38 学電)                  | (GROSS)94 | (NET) 72.4 |
| 第 3 位  | 山形俊一郎氏 (33 短電)                  | (GROSS)92 | (NET) 72.8 |
| ベストグロス | 加瀬勝弘氏 (38 学機)                   | (GROSS)83 |            |
| ニアピン   | 大和田氏 (32 学電)、藤岡氏、長森氏 (49 子)、三幣氏 |           |            |



(優勝者藤岡氏に、新たに設けられた記念のクリスタルカップが渡されました)

ゴルフ同好会の発足は、山田元支部長 (23 学機) の呼びかけで、1990 年に始まったと記録に残っております。以降連綿と続いており、星野大先輩 (18 学金) や山田元支部長が豊饒として、フェアウエイを闊歩されておりました。このような先輩たちの後姿を見ていると、anti-aging とはかくなる事かと、思い知らされたものです。ぜひ、同好会ゴルフの中にも楽しみを見出してください、一人でも多くの方が、心身ともに若々しく、“健康の秘訣はゴルフだ”となれば幸いです。

## 「囲碁会の歩み」

囲碁同好会会長 高橋 孝雄

当時の三幣正人支部長の「同好会活動を活発に会員の参加増を」との提唱で、1997年11月船橋市中央公民館で9人の同好の士が集まり、第1回親睦囲碁大会が開かれました。以来囲碁大会は毎年3～4回定期的に開催され、今年で9年目33回を数えました。

第10、20、30回はそれぞれ記念大会とし盛大に楽しく行われました。

大会には毎回新しい参加者が加わり、東京、神奈川、埼玉、会友からの参加も定着、親睦交流の輪が着実に広がっています。

40人を超える会員は初心者から七段まで、年齢も50才代から80才代まで幅広く、毎回楽しく「手談・烏鷺」（囲碁の別名）を交わしております。

最も面白いゲームと言われる囲碁は脳の活性化に効果的と言われ、子供に爆発的な人気を呼び、婦人やシニア層にも広がっています、あなたも気軽に参加しませんか。

32回までの入賞者は次の通り多岐にわたり優勝者は20人近くに達しました。

### 囲碁大会入賞者

| 回    | 開催年月日      | 参加数 | 優勝       | 準優勝     | 三位       | 備考  |
|------|------------|-----|----------|---------|----------|-----|
| 第1回  | 1997.10.26 | 9人  | 小室哲夫 三段  | 須田照男 四段 | 高山和夫 三段  |     |
| 第2回  | 1998.3.1   | 9人  | 星野政良 2級  | 須田照男 四段 | 小室哲夫 三段  |     |
| 第3回  | 1998.7.5   | 13人 | 兼巻良勝 四段  | 鈴木友生 7級 | 須田照男 四段  |     |
| 第4回  | 1998.11.29 | 10人 | 高山和夫 三段  | 高橋孝雄 三段 | 小室哲夫 三段  |     |
| 第5回  | 1999.2.26  | 10人 | 鈴木友生 4級  | 小室哲夫 三段 | 高橋孝雄 三段  |     |
| 第6回  | 1999.5.29  | 6人  | 高橋孝雄 三段  | 井川滋郎 三段 | 須田照男 四段  |     |
| 第7回  | 1999.8.28  | 10人 | 兼巻良勝 四段  | 小室哲夫 四段 | 須田照男 四段  |     |
| 第8回  | 2000.2.26  | 10人 | 幸道貞一 初段  | 穂坂邦光 初段 | 森 俊和 五段  |     |
| 第9回  | 2000.5.27  | 9人  | 三幣正人 三段  | 須田照男 五段 | 幸道貞一 初段  |     |
| 第10回 | 2000.8.26  | 16人 | 幸道貞一 初段  | 森 俊和 五段 |          | 2位迄 |
| 第11回 | 2000.12.3  | 11人 | 佐藤喬太郎 二段 | 高橋孝雄 三段 | 小室秋生 四段  |     |
| 第12回 | 2001.2.24  | 10人 | 幸道貞一 初段  | 田口嘉男 五段 | 須田照男 五段  |     |
| 第13回 | 2001.6.23  | 7人  | 小室哲夫 四段  | 小室秋生 四段 | 栗谷川文司 二段 |     |
| 第14回 | 2001.8.25  | 12人 | 兼巻良勝 四段  | 須田照男 五段 | 幸道貞一 初段  |     |
| 第15回 | 2001.11.17 | 8人  | 小室哲夫 四段  | 須田照男 五段 | 高橋孝雄 三段  |     |
| 第16回 | 2002.3.30  | 14人 | 越川直親 3級  | 金子元信 1級 | 海野由造 六段  |     |
| 第17回 | 2002.6.1   | 18人 | 渡辺貞亮 二段  | 伊能照夫 初段 | 兼巻良勝 四段  |     |
| 第18回 | 2002.8.25  | 15人 | 山下正明 六段  | 伊能照夫 初段 | 小室哲夫 四段  |     |
| 第19回 | 2002.12.1  | 14人 | 兼巻良勝 四段  | 金子元信 1級 | 高橋孝雄 三段  |     |
| 第20回 | 2003.3.1   | 18人 | 伊能照夫 初段  | 兼子八郎 二段 | 森 俊和 五段  |     |
| 第21回 | 2003.6.28  | 18人 | 石川英二 二段  | 北村勝昭 五段 | 山下正明 六段  |     |
| 第22回 | 2003.8.23  | 14人 | 佐藤隆義 七段  | 木内定計 8級 | 玉造 豊 四段  |     |
| 第23回 | 2004.2.28  | 17人 | 森 俊和 五段  | 北村勝昭 五段 | 海野由造 六段  | A組  |
|      |            |     | 鈴木俊行 三段  | 穂坂邦光 初段 | 伊能照夫 二段  | B組  |
| 第24回 | 2004.5.22  | 12人 | 金子元信 初段  | 海野由造 六段 | 木内定計 8級  |     |



|        |            |      |         |         |         |  |
|--------|------------|------|---------|---------|---------|--|
| 第 25 回 | 2004.8.21  | 14 人 | 幸道貞一 初段 | 海野由造 六段 | 穂坂邦光 初段 |  |
| 第 26 回 | 2004.11.27 | 8 人  | 高橋孝雄 三段 | 伊能照夫 二段 | 小白井和典四段 |  |
| 第 27 回 | 2005.2.26  | 12 人 | 森 俊和 五段 | 穂坂邦光 初段 | 高橋孝雄 三段 |  |
| 第 28 回 | 2005.5.21  | 15 人 | 山下正明 六段 | 石川英二 二段 | 照沼 清 四段 |  |
| 第 29 回 | 2005.8.20  | 18 人 | 玉造 豊 四段 | 小白井和典四段 | 石川英二 二段 |  |
| 第 30 回 | 2005.11.27 | 16 人 | 佐藤隆義 七段 | 兼子八郎 二段 | 小室秋生 四段 |  |
| 第 31 回 | 2006.2.25  | 15 人 | 上田正雄 三段 | 小白井和典四段 | 高田 丈夫三段 |  |
| 第 32 回 | 2006.6.3   | 16 人 | 高橋孝雄 三段 | 佐藤隆義 七段 | 照沼 清 四段 |  |

## 役員の異動

役員の異動（平成 18 年 9 月 10 日付）

長谷川 宏佑 様、 長い間ご苦勞さまでした。

| 退 任                | 新 任               |
|--------------------|-------------------|
| 監事 長谷川 宏佑(昭 26 専機) | 監事 石川 安男(昭 30 学原) |

平成 18 年後期俳句コンクール

## 作品募集

兼 題 年の市 雪吊 山茶花（さざんか）

締 切 12月25日 五句以内

宛 先 〒 274-0822

船橋市飯山満町 2-437-21

塚越 としを

TEL/FAX 047-466-2396

E メール [tukakosi@msd.biglobe.ne.jp](mailto:tukakosi@msd.biglobe.ne.jp)

## 50 周年記念俳句大会報告

俳句同好会副会長 小室哲夫

日 時：9 月 30 日 12：30～16：30

会 場：船橋市勤労市民センター

参加者：19 名（他に投句のみ参加者 11 名）

次 第：（1）講演会 演題「俳句を楽しむ」

講師 藤井罔彦先生（「狩」同人・俳人協会評議員）

（2）俳句会 応募句数 77 句 選句により高点句に賞品授与

（3）懇親会 講師を囲み親睦 参加者 13 名

### 講演要旨

1、“俳句を楽しむ”ための入り方 最近は俳句の良し悪しを判断する基準が曖昧な傾向にあるが、それでは楽しみが湧かない。自分での観点を持って作り、また鑑賞をすると良い。私（藤井氏）の観点としては、

- ① まず主題をもつこと。それを過不足のない表現により描きだすこと
- ② 読み手にはっきりしたイメージが伝わるか？使用の語句の選択は適切か？
- ③ 季節感が溢れているか？対象の把握に個性があるか？表記法は正しいか？

例 “妻と寝て銀漢の尾に父母います”（S34 狩行） “妻と寝て” の表現に夫婦の愛情があり、“銀漢” 天の川に続いて “父母います” で宇宙、人類の永劫の時間、親子のつながり、感謝の気持ちがよく表現されています。

2、“俳句をつくるカタチになれる”こと なんと言っても、ドンドンつくり、作り方になれることです。作り方の技術としては、いくつかに分類できるが、これらを作句方法の原点として勉強すると良い。

- ① 生き活きとした描写の発見の句、

例 “白牡丹といふといえども紅ほのか”（虚子）

- ② 気分象徴としての写生句、

例 “くろがねの秋の風鈴鳴りにけり”（蛇笏）作者の気分が先行している。

- ③ 反対のイメージの取り合わせの句、

例 “遠山に日の当りたる枯野かな”（虚子）遠近の状態の取り合わせ。

- ③ 呼びかけのもの、

例 “お母さんが退院したよトンボさん”（小学生）など。

3、“推敲をかさねるごとに楽しくなれます” 1 ヶ月に何十句かつくり、推敲をかさね、そのうちの幾つかを発表する。これらを継続することにより、推敲すること自体が楽しくなり、その技術、作句のレベルが上がります。

散文の推敲例 “私は妻と結婚して 20 年が経った” → “結婚して 20 年が経った” → → → “妻との 20 年” 推敲の魔力を感じる。狩行師の推敲例：

“湖心また日を照り返し芒原” → “みずうみのなほ照り返し芒原”

日常での作句の推敲例としては、

“新涼や腸ぬけし魚を買ひ” → “新涼や腸ぬきし魚を買ひ” 新鮮さが大違い  
“すなおには割らせてくれず胡桃の実” → “すなおには割れてはくれず・・・”  
“引き出しをゴった返して残暑かな” → “引き出しをゴった返しの残暑かな”

4、“なぜ、俳句を創り続けるのか” 芭蕉は死去の直前まで、推敲を重ねておられた。“旅に病んで夢は枯野をかけ廻る”（なをかけ廻る夢心）。

“ことば”を大切にすることは、俳人ならずとも、人として重要な心構えではないか？生涯国語人、生涯対話人、生涯読書人、生涯記述人として生きようではありませんか？

【参考書：小西甚一「俳句の世界」講談社文庫】

## 講師選評

披講・採点をはじめとして、議事運営がスムーズで大変良い句会でした。

一位 高橋さんの句；これは写生句でここから出発するのはいいことですが、“雪か見えし”の比喻は一般的すぎて上等でない。もう少し工夫がほしいです。ただ写生だけでは、選者としては採れません。もう一步の努力を！

二位 平野さんの句；“タベの”は擬人法が過ぎるので、“タベヤ”として、一度切った方がよいと思います。そうすると第一人称の句になります。

三位 平野さんの句；特選にしましたが、あわれを表現してすばらしい。

“こぼれけり”と一気に詠んだところも大変良い。

三位 鈴木さんの句；感性的な句で、速さと大きさとの対比、またはつばめが去ったあとの空の広さ、どちらとも取れるが、そういう場合は良い方をとれば良い。

四位 山形さんの句；季節感がすばらしい。秋の空気のすがすがしさがよく出ている。

五位 小室さんの句；芭蕉の有名な句に似ている。形をまねるのは、一つの方法でよいがまね過ぎないように。歴史を踏まえた、大変良い句です。

五位 高橋さんの句；韻を踏んだ調べの良い句。その為になさやかさが良く出ている。特選です。

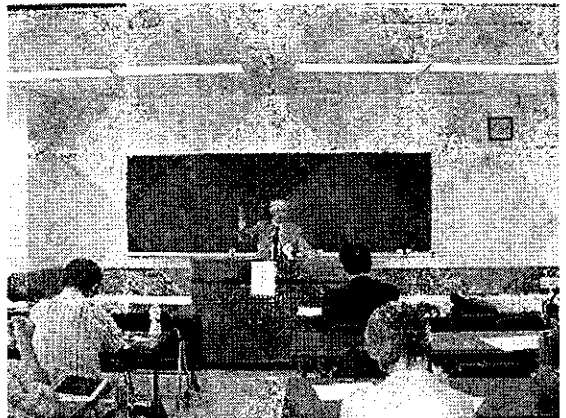
五位 高萩さんの句；むなしさ、わびしさが良く出ています。

五位 鈴木さんの句；やわらかい大根であるところがとても良い。

五位 渡辺さんの句；軸、短冊にかけるとな、まとまった大変良い句。

六位 高柳さんの句；“一千年”と“巨”は意味がダブル。“中に”は説明的。

六位 高柳さんの句；今年の豊年を主題にして、なかなか良い句。



俳句会成績一覽表

応募句数 七七句 互選句による3点句以上、ならびに講師選を表示  
 (特)は講師特選 (普)は講師普通選を表す

| 一位                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 二位                                                  | 三位                                                                                                                               | 四位                                                                                                                               | 五位                                                                                  | 六位                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 7点                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 6点                                                  | 5点                                                                                                                               | 4点                                                                                                                               | 3点                                                                                  | 2点                                             |
| (特)                                                                                                                                                                                                                                                                                         | (特)                                                 | (普)                                                                                                                              | (普)                                                                                                                              | (特)                                                                                 | (普)                                            |
| 車窓より雪か見えし蕎麦の花<br>告げざるを悔ゆる夕べの吾亦紅<br>萩の露触るるを待たずこぼれけり<br>つばくろの去りたる空の広さかな<br>秋立つや畳表の足ざはり<br>秋蝶の全身鼓動ありにけり<br>イヤホーン外れて涼し虫の声<br>青みかん童女のつむりふと匂う<br>皺の手や無心に洗ふ父母の墓<br>守り抜く憲法九條原爆忌<br>感動の薄るる老いや敗戦忌<br>夏草や風船爆弾あげし跡<br>朝顔の青より淡し空の青<br>孫ら去り庭にプールの残りをり<br>大根に切れ味試す研師かな<br>おいどんの夏が来るなり桜島<br>二歳児に手を添え持たす花火かな | 埼玉支部<br>会友<br>S34学電<br>高橋孝雄<br>平野昌子<br>平野昌子<br>鈴木章平 | 埼玉支部<br>会友<br>S33短電<br>山形俊一郎<br>塚越としを<br>高松恒夫<br>草刈 董<br>小白井和典<br>中村善一郎<br>三幣正人<br>小室秋生<br>高橋孝雄<br>高萩隆司<br>鈴木章平<br>渡辺銀市<br>七五三文雄 | 埼玉支部<br>会友<br>S33短電<br>山形俊一郎<br>塚越としを<br>高松恒夫<br>草刈 董<br>小白井和典<br>中村善一郎<br>三幣正人<br>小室秋生<br>高橋孝雄<br>高萩隆司<br>鈴木章平<br>渡辺銀市<br>七五三文雄 | 会友<br>S38学電<br>埼玉支部<br>日立支部<br>会友<br>S34学電<br>高橋孝雄<br>高萩隆司<br>鈴木章平<br>渡辺銀市<br>七五三文雄 | 会友<br>S39学精<br>穂坂氏奥様<br>穂坂芳子<br>高柳かつを<br>高柳かつを |

## 平成 19 年度新年会のご案内

(担当 副支部長 高橋 清 総務企画 山形俊一郎)

今回の新年会は千葉県支部創立 50 周年記念行事の締めくくりとして、千葉市に会場を設定しました。史跡・万歩会で千葉神社にて新年の祈願を行った後、新年会を下記の通り開催いたしますので、沢山の方が参加下さるようご案内申し上げます。

史跡・万歩会に参加される方は 10 時までに千葉駅に集合して下さい。

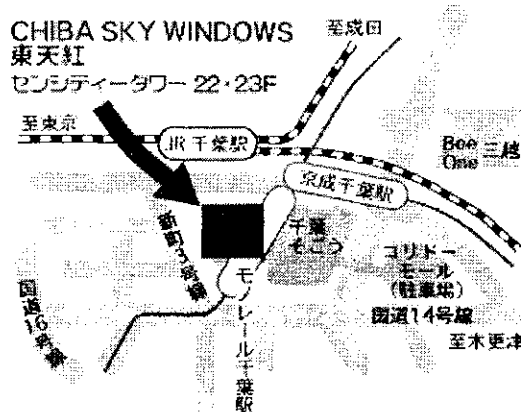
### 記

1 日 時 平成 19 年 1 月 8 日 (月) 13:00 ~ 15:00

2 会 場 「千葉東天紅」 電話 043-238-5555

千葉市中央区新町 1000 センシティタワー 23F(千葉そごう西隣)

JR 千葉駅東口より徒歩 5 分・京成千葉駅より徒歩 3 分



3 会 費 7000 円

- 4 その他
- 1) 新年会のみ参加者は 12 時 30 分頃までにご参集ください。
  - 2) 参加希望者は 12 月 15 日(月)までに 高橋 清 までご連絡下さい。

## 史跡・万歩会の 1 泊バス旅行の報告

(史跡・万歩会 高橋清 佐藤栄一)

千葉県支部創立 50 周年記念事業として、7 月 6~7 日 1 泊バス旅行を行いました。薄日のさす旅行日和に恵まれ、五浦岬公園、天心記念美術館や塩屋埼灯台を廻りました。また、バスの運転手のガイドが良く楽しい思い出が出来ました。旅館「まるみつ」の温泉、昼食など対応が良く楽しい旅行でした。ただ、残念な事は参加者が 16 名と激減した事です。反省として、今後バス旅行は参加者の確認は往復葉書で行いますのでよろしくお願いいたします。

このページには「支部役員・役割・連絡一覧表」が掲載されていましたが、個人情報保護のため archive からは削除しました。

元の記事を確認したい方は [shibukanji@mbn.nifty.com](mailto:shibukanji@mbn.nifty.com) へ連絡してください。